

## 5. 教員の活動報告

### 5-1. 先端人間科学

講座名等	教員氏名
先端人間科学	前迫 孝憲
先端人間科学	苧阪 満里子
先端人間科学	渥美 公秀
先端人間科学	檜垣 立哉
先端人間科学	山本 ベバリー・アン
先端人間科学	Don Bysouth

所属学系	先端人間科学	氏名	前迫 孝憲
------	--------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	24 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	4 件	0 件
		副査	1 件	1 件	

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	18 名
	指導教員	12 名	1 名	留学生	4 名
	副指導教員	0 名	4 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	1 件	8 件	1 件	2 件	1 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	日本中小学情報教育的発展歷程 和前沿動態	孫帙,李哲,前迫孝憲, 張海	201504	中国信息技术教育 209 卷 7 号 p15-17
学術論文	NIRS を用いた脳活動計測技術が もたらす教育神経科学の可能性	黒田恭史,岡本尚子, 前迫孝憲	201507	日本レーザー医学会誌 36 卷 2 号 p176-184
学術論文	Present Situation and Problems of Technology Education in Japan: With Focusing on Technology Education as General Education	Satoshi Fujikawa,Takanori Maesako	201509	International Research in Education
学術論文	日本個性化学習環境実証項目 “ICT 夢想学校”概述及啓示	趙思邈,李哲,前迫孝 憲,張海	201509	中国信息技术教育 221 卷 18 号 p93-96
学術論文	中国人日本語学習者を対象とし た文型・語彙の関係図の作成によ る日本語学習支援システム	李哲,孫帙,西森年寿, 前迫孝憲	201510	教育システム情報学会誌 Vol.32, No.4, pp.246-256
学術論文	Learners' perceptions on Computer Assisted Non-formal Education in Community Learning Centers	Carpio Marife, Maesako Takanori	201511	South Asia Journal of Multidisciplinary Studies Vol.1, No.10
学術論文	数学的モデリングによるイノベ ーション教育に関する研究—「ソ ファ問題」を通して顕在化した関 数教育及び図形教育の課題と提 案—	河崎哲嗣,黄瀬正敏, 前迫孝憲,稲葉芳成	201602	近畿数学教育学会会誌 29 卷 p27-40
学術論文	中日漢字の対応関係に基づいた 中国語学習支援システム	李哲,前迫孝憲,西森 年寿,孫帙	201603	教育メディア研究 22 卷 2 号 p33-44
会議報告 /口頭発表	学習者の特性が協同学習中の発 言行動に与える影響の分析	中村雅子,西森年寿, 前迫孝憲	201603	日本教育工学会研究報告集 JSET16-1, pp.43-46

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
国際会議 (proc.あり)	Benefits of Prior Learning in Woodworking Education by Incorporating Failure Experiences	Satoshi Fujikawa, Fumitaro Sekine, Takanori Maesako	201505	The Fifth Pacific Rim Conference on Education Proceedings pp.97-109
専門著書	教職をめざす人のための教育課程論	古川治, 矢野裕俊, 前迫孝憲	201509	北大路書房
大学・研究所等の報告	通信網の変遷と学習施設—独コミュニケーション博物館の展示品を巡って—	前迫孝憲	201510	情報学教育論考 Vol.1, pp.9-10
大学・研究所等の報告	日常現象と空間図形を関連付けた直観力を育てる数学教育—見えない物の「想像力」と視点移動による形状の「推測力」—	河崎哲嗣, 前迫孝憲	201603	岐阜大学教育学部研究報告 教育実践研究 18 巻

所属学系	行動学系	氏名	荻原 満里子
------	------	----	--------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	5 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	2 件	1 件
			副査	1 件	1 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	0 名
	指導教員	2 名	1 名	留学生	0 名
	副指導教員	1 名	0 名	研究生	0 名
				その他	0

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	件	件	件	件	件	件	件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	ワーキングメモリの中央実行系のトップダウン処理とその脳内機構—船橋論文へのコメント—	荻原満里子	201507	心理学評論 58 巻 1 号 p72-76
学術論文	The rostral prefrontal cortex underlies individual differences in working memory capacity: An approach from the hierarchical model of the cognitive control.	Minamoto, T., Yaoi, K., Osaka, M., & Osaka, N.	201510	71 巻 p277-290
学術論文	How two brains make one synchronized mind in the inferior frontal cortex: fNIRS-based hyperscanning during cooperative singing.	Osaka, N., Minamoto, T., Yaoi, K., Azuma, M., Minamoto Shimada, Y., & Osaka, M.	201511	Frontiers in Psychology 6 巻 1811 号
会議報告 /口頭発表	Two brains make one Mind: Hyperscanning study on synchronized singing/humming between two people using fNIRS.	Osaka, N., Minamoto, T., Yaoi, K., Azuma, M., & Osaka, M.	201507	Abstract 722
会議報告 /口頭発表	前部帯状回腹側部の活動から捉える感情情報の注意資源特性: fMRI 研究	源健宏, 荻原満里子, 荻原直行	201507	Abstract #2P258
会議報告 /口頭発表	前部帯状回腹側部の活動から探る感情情報の注意資源特性—事象関連 fMRI による検討—	源健宏, 荻原満里子, 荻原直行	201507	プログラム #01-18
会議報告 /口頭発表	前頭前野の機能的階層構造とワーキングメモリ容量の個人差	源健宏, 矢追健, 荻原満里子, 荻原直行	201509	発表論文集 #2EV-083

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
会議報告 /口頭発表	Valence-general attentional resource for emotional information revealed by activation of the ventral part of the anterior cingulate cortex.	Minamoto, T., Yaoi, K., Osaka, M., & Osaka, N.	201510	Program #87.03
会議報告 /口頭発表	Working memory helps solving second-order false belief task in normal adults: An event-related fMRI study based the Theory of Mind.	Osaka, N., Yaoi, K., Minamoto, T., & Osaka, M.	201511	Abstracts 46-47
会議報告 /口頭発表	ワーキングメモリとマインドフルネスの関係性	新井智大, 荻阪満里子	201512	アブストラクト集 no. 10
会議報告 /口頭発表	認知症におけるワーキングメモリの特徴—数唱とリーディングスパンによる相違—	吉村貴子, 荻阪満里子, 前島伸一郎, 大沢愛子	201512	アブストラクト集 no. 14

所属学系	先端人間科学	氏名	渥美 公秀
------	--------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	20 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	件	3 件
			副査	件	2 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	0 名
	指導教員	2 名	5 名	留学生	0 名
	副指導教員	0 名	2 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	1 件	4 件	2 件	2 件	1 件	4 件	0 件
その他	新聞 2 件、ラジオ 4 件						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	ホームレス支援の関係性の継続と崩壊 - 入所施設のアフターケアでのアクションリサーチおよび支援関係の理論的考究 -	堀江尚子, 渥美公秀, 水内俊雄,	201511	
学術論文	たちあがる のだ-北リアス・岩手県九戸郡野田村の QOL を重視した災害復興研究	李永俊・渥美公秀	201603	
学術論文	ネパール地震被災地の災害対応に学ぶ防災の可能性	渥美公秀、稲場圭信、河村信治、乾陽亮	201603	文部科学省科学研究費補助金(特別研究促進費)「2015年ネパール地震と地震災害に関する総合調査」報告書 p141-146
一般著書	震災被災者と足湯ボランティア「つぶやき」から自立へと向かうケアの試み 似田貝香門・村井雅清[編著]	似田貝香門・村井雅清	201507	生活書院 担当頁:255
解説・総説	今後の防災・減災・縮災を考える	渥美公秀	201601	消防科学と情報
解説・総説	地域防災への視点	渥美公秀	201602	地域防災
解説・総説	「こころを込めた」奉仕を目指して	渥美公秀	201603	SeRV ボランティア活動の軌跡
解説・総説	いのちを支える～支え合いのリーダー	渥美公秀	201603	ひょうご人権ジャーナルきずな
解説・総説	災害ボランティア～秩序化のドライブを超えて	渥美公秀	201603	地方自治職員研修

所属学系	先端人間科学	氏名	檜垣 立哉
------	--------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	26 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	1 件	3 件
		副査	2 件	2 件	

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	4 名
	指導教員	11 名	9 名	留学生	1 名
	副指導教員	10 名	7 名	研究生	1 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	4 件	5 件	3 件	件	件	2 件	件
その他	著作 4 件のうちわけは単著 1、翻訳 1、共著 2。						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	他者はどこにいるのか ドゥルーズにおける強度と精神と自然	檜垣立哉	201505	現代思想 43-9,136-143
学術論文	バロックの哲学 5 ホワイトヘッドバロック	檜垣立哉	201506	『思想』 1094号 p75-94
学術論文	ドゥルーズ歿後二〇年の<世界的現在>	檜垣立哉	201510	ドゥルーズ 歿後20年 新たな展開 25-33
学術論文	アンチ・ナルシスの射程 ヴィヴェイロス・デ・カストロ『食人の形而上学』に寄せて	檜垣立哉	201602	現代思想 Vo 144-5 p306-310
専門著書	『日本哲学原論序説 拡散する京都学派』	檜垣立哉	201505	人文書院
専門著書	Tout ouvert: L'evolution créatrice en tous sens, 檜垣は 249-262 分担	Ed. S.Abiko, H.Fujita M.Goda	201510	O LMS
辞典	スクリプナー思想史大事典 翻訳 構造主義とポスト構造主義 p1050-1056	スクリプナー思想史大事典翻訳編集委員会	201601	丸善
専門著書	『科学と文化をつなぐ』 第二章 p39-p58 を執筆	春日直樹編	201603	東京大学出版会 担当頁: 39-58
教科書	『共生学が創る世界』檜垣は第 I 部 1 p19-31 を担当	編者 河森正人 栗本英世 志水宏吉	201603	大阪大学出版会
教科書	共生学が創る世界	山本 ベバリーアン	201603	大阪出版
翻訳作品	『食人の形而上学 ポスト構造主義的人類学への道』	エドゥアルド・ヴィヴェイロス・デ・カストロ, 檜垣立哉, 山崎吾郎訳	201510	洛北出版

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
その他	競馬場の光景	檜垣立哉	201505	はどっく 38巻3号(通算358号) P. 1
その他	ポスト現代思想としての日本哲学	檜垣立哉 北野圭介	201601	現代思想 44-1 p69-81

所属学系	先端人間科学	氏名	山本 ベバリーアン
------	--------	----	-----------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	10 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	1 件	3 件
			副査	件	1 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	7 名
	指導教員	4 名	6 名	留学生	13 名
	副指導教員	3 名	1 名	研究生	2 名
				その他	学部学生による自主研究奨励事業 1 名

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	1 件	件	2 件	4 件	件	件	件
その他	国際バカロレア機構による委託研究の中間と最終報告書を提出した。著書の章 4 件まで投稿し、2016 年度に出版される。学術論文も査読後修正中のものが 1 件ある。						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
国際会議 (proc.なし)	A comparative analysis of understandings of sexual behaviour among key stakeholders in UK secondary schools	Yamamoto Beverley Anne	201507	World Association of Sexual Health
国際会議 (proc.なし)	A failure of communication or of the imagination?: How top-tier Japanese universities are handling government demands that they recognize the IB Diploma for admissions: Top-tier Japanese universities and the politics of IB Diploma recognition	山本 ベバリーアン	201603	Comparative and International Education Society
国際会議 (proc.なし)	How patient organizations are influencing national policies for rare diseases and orphan drugs: APARDO and Rare Disease International	Durhane Wong-Rieger, Rachel Yang, Beverley Yamamoto, John Forman	201603	9th Annual BioPharma Asia Convention
教科書	共生学が創る世界	山本 ベバリーアン	201603	大阪出版 担当頁:5 2 - 6 4

所属学系	先端人間科学	氏名	バイサウス ドン
------	--------	----	----------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	20 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	件	件
			副査	1 件	2 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	7 名
	指導教員	名	名	留学生	5 名
	副指導教員	4 名	4 名	研究生	1 名
				その他	7

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	1 件	2 件	2 件	0 件	0 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	Collateral damage: An investigation of non-combatant teasing by American service personnel in occupied Iraq and Afghanistan.	Don Bysouth, Sohail Jeloos-Haghi, Keiko Ikeda	201506	Pragmatics & Society 6 巻 3 号 p338-366
学術論文	Cross-cultural epistemic displays in technologically mediated interactions	Don Bysouth	201602	大阪大学大学院人間科学研究科紀要 42 巻 p209-234
国際会議 (proc.あり)	Multiparty participation and turn allocations in interaction with an avatar robot	Ikeda, Yamazaki, Yamazaki, Imai, Ono, Bysouth	201506	Revisiting Participation, Language and Bodies in Interaction. University of Basel, Switzerland, June 24-27.
国際会議 (proc.あり)	Epistemic displays in technologically mediated cross-cultural interactions.	Don Bysouth, Keiko Ikeda	201508	IEMCA International Conference, Living in the Material World, University of Southern Denmark, Kolding, Denmark, August 4-7
教科書	「多文化社会の心理学」 河森正人・栗本英世・志水宏吉 (編著) 『共生学が創る世界』 pp.121-130.	バイサウスドン	201603	大阪大学出版会
教科書	共生学が創る世界	山本 ベバリーアン	201603	大阪出版

## 5-2. 行動学系

講座名等	教員氏名
人間行動学	森川 和則
人間行動学	赤井 誠生
人間行動学	松下 戦具
人間行動学	篠原 一光
人間行動学	紀ノ定 保礼
人間行動学	釘原 直樹
人間行動学	阿形 亜子
人間行動学	佐藤 眞一
人間行動学	権藤 恭之
人間行動学	中川 威
人間行動学	青野 正二
人間行動学	臼井 伸之介
人間行動学	森泉 慎吾
行動生態学	日野林 俊彦
行動生態学	金澤 忠博
行動生態学	清水 真由子
行動生態学	志村 剛
行動生態学	八十島 安伸
行動生態学	乾 賢
行動生態学	足立 浩平
行動生態学	宮本 友介
行動生態学	中野 良彦
行動生態学	後藤 遼佑
行動生態学	中道 正之
行動系共通	太子 のぞみ

所属学系	行動学系	氏名	森川 和則
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	20 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	件	2 件
			副査	件	2 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	3 名
	指導教員	名	2 名	留学生	名
	副指導教員	名	2 名	研究生	2 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	1 件	5 件	件	5 件	件	件	件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	Measurement of eye size illusion caused by eyeliner, mascara, and eye shadow	Matsushita, S., Morikawa, K., & Yamanami, H.	201505	Journal of Cosmetic Science 66 巻 p161-174
学術論文	錯視現象を活用したアイメイク効果の定量的測定と評価	森川和則	201508	コスメティック ステージ 9 巻 6 号 p56-61
学術論文	Eye shape illusions induced by eyebrow positions	Matsushita, S., Morikawa, K., Mitsuzane, S., & Yamanami, H.	201509	Perception 44 巻 p529-540
学術論文	化粧による顔の心理効果: 顔錯視研究の観点から	森川和則	201511	映像情報メディア学会誌 69 巻 11 号 p842-847
専門著書	「顔の百科事典」 顔とその錯視	森川和則	201509	丸善出版 担当頁:pp.304-309
解説・総説	視覚の心理学 日常に潜む錯覚・錯視の研究	森川和則	201601	色材協会誌 89 巻 1 号 p11-16

所属学系	行動学系	氏名	赤井 誠生
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	10 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	1 件
			副査	1 件	2 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	1 名
	指導教員	0 名	1 名	留学生	0 名
	副指導教員	0 名	3 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	0 件	2 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
会議報告 /口頭発表	沖縄における発達加速	日野林俊彦, 清水(加藤)真由子, 大西賢治, 金澤忠博, 赤井誠生	201509	日本心理学会第 79 回大会発表論文 集 1048

所属学系	行動学系	氏名	松下 戦具
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	3 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	0 件	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	0 名
	指導教員	0 名	0 名	留学生	0 名
	副指導教員	0 名	0 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	0 件	1 件	1 件	6 件	2 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	A real-life illusion of assimilation in the human face: Eye size illusion caused by eyebrows and eye shadow	Kazunori Morikawa, Soyogu Matsushita, Akitoshi Tomita, Haruna Yamanami	201505	Frontiers in Human Neuroscience
学術論文	Measurement of eye size illusion caused by eyeliner, mascara, and eye shadow	Matsushita, S., Morikawa, K., & Yamanami, H.	201505	Journal of Cosmetic Science 66 巻 p161-174
学術論文	Measurement of eye size illusion caused by eyeliner, mascara, and eye shadow	Soyogu Matsushita, Kazunori Morikawa, Haruna Yamanami	201506	Journal of Cosmetic Science
学術論文	Eye shape illusions induced by eyebrow positions	Matsushita, S., Morikawa, K., Mitsuzane, S., & Yamanami, H.	201509	Perception 44 巻 p529-540

所属学系	行動学系	氏名	篠原 一光
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	27 科目	②学位論文審査	博士	修士	
			主査	0 件	1 件
			副査	3 件	4 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	3 名
	指導教員	3 名	3 名	留学生	2 名
	副指導教員	5 名	6 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	1 件	3 件	2 件	3 件	0 件	2 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	繁忙感とメンタルワークロードとの関係に関する実験的検討	彦野賢,篠原一光,松井裕子	201508	人間工学 51 巻 4 号 p248-255
学術論文	Comparison between Binocular and Monocular Augmented Reality Presentation in a Tracing Task	Akihiko Kitamura, Hiroshi Naito, Takahiko Kimura, Kazumitsu Shinohara, Takashi Sasaki, Haruhiko Okumura	201509	映像情報メディア学会誌 69 巻 10 号 p292-297
学術論文	ドライバの思い込みと状況認識—エラー発生から交通事故に至る過程の分析	岩男眞由美,篠原一光,大門樹	201603	自動車技術 70 巻 3 号 p89-94
会議報告 /口頭発表	両眼・単眼に提示された虚像に対する情報処理(3):虚像の大きさと背景画面の違いに基づく距離評価	藤原悠史,篠原一光,紀ノ定保礼,木村貴彦	201509	日本心理学会第79回大会発表論文集 633
会議報告 /口頭発表	両眼・単眼に提示された虚像に対する情報処理(4):虚像から背景への注意移動と刺激検出パフォーマンス	篠原一光,藤原悠史,紀ノ定保礼,木村貴彦	201509	日本心理学会第79回大会発表論文集 634
会議報告 /口頭発表	Psychological research issues on visual attention while using head-up display	Kazumitsu Shinohara	201511	SIGGRAPH ASIA 2015
国際会議 (proc.あり)	Monocular AR display for automobile navigation and safety driving	Haruhiko Okumura, Takashi Sasaki, Aira Hotta, Kazumitsu Shinohara	201509	SID Symposium Digest of Technical Papers 41 巻 S1 号 p64-64

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
専門著書	自動車技術ハンドブック 人間工学編 (第3分冊)	自動車技術ハンドブック編集委員会	201603	公益社団法人自動車技術会
解説・総説	認知心理学から見たヒューマンエラー	篠原一光	201507	日本医療ガス学会誌 17巻 1号 p7-13
解説・総説	交通安全に関連する視覚的注意の心理学的研究課題	篠原一光	201601	光学 45巻 1号 p29-33

○受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
201508	篠原一光	自動車技術会技術部門貢献賞	公益社団法人自動車技術会

所属学系	行動学系	氏名	紀ノ定 保礼
------	------	----	--------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	3 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	0 件	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	0 名
	指導教員	0 名	0 名	留学生	0 名
	副指導教員	0 名	0 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	0 件	1 件	0 件	7 件	0 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	Predicting Driver's Intention Based on Own Vulnerability: A Social Interaction Process Between Road Users at an Intersection in Japan	Yasunori Kinosada, Shinnosuke Usui	201511	Japanese Psychological Research
会議報告 /口頭発表	両眼・単眼に提示された虚像に対する情報処理(3): 虚像の大きさと背景画面の違いに基づく距離評価	藤原悠史, 篠原一光, 紀ノ定保礼, 木村貴彦	201509	日本心理学会第79回大会発表論文集 633
会議報告 /口頭発表	両眼・単眼に提示された虚像に対する情報処理(4): 虚像から背景への注意移動と刺激検出パフォーマンス	篠原一光, 藤原悠史, 紀ノ定保礼, 木村貴彦	201509	日本心理学会第79回大会発表論文集 634

所属学系	行動学系	氏名	釘原 直樹
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	19 科目	②学位論文審査	博士	修士	
			主査	1 件	2 件
			副査	0 件	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	6 名
	指導教員	5 名	7 名	留学生	0 名
	副指導教員	0 名	6 名	研究生	0 名
				その他	0

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	2 件	4 件	2 件	14 件	0 件	1 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	Psychological distance and likeability of in-or out-group targets who hold different opinions	Mami Muto, Naoki Kugihara	201504	Psychologia 58 巻 p36-48
学術論文	精神障害者に対する社会的距離に影響する要因—統合失調症患者への認知における帰属複雑性と曖昧さ耐性の効果の検討—	武藤麻美・釘原直樹	201507	応用心理学研究 41 巻 p10-17
学術論文	Effects of labeling and group category of evaluators on evaluations of aggression.	Teraguchi, T., & Kugihara, N.	201512	PLoS ONE 10(12), e0144384. doi:10.1371/journal.pone.0144384
学術論文	空間的距離の認知が社会的距離に及ぼす影響—外集団間の差異に焦点を当てて—	武藤麻美・釘原直樹	201512	応用心理学研究 印刷中
学術論文	災害被害者の責任帰属についての検証—テロは殺人とは違うのか—	竹内 穂乃佳・釘原直樹	201603	対人社会心理学研究 16号 p27-32
学術論文	被害者への共感的観察が脆弱性認知に及ぼす影響—詐欺被害事例を用いた検討—	大工 泰裕・阿形 亜子・釘原 直樹	201603	対人社会心理学研究 16号 p21-26
学術論文	予知能力の存在の検討—ネガティブ刺激の事前回避—	今村 夕貴・釘原 直樹	201603	対人社会心理学研究 16号 p47-52
会議報告 /口頭発表	集合的効力感の集団内分散の予測力に関する探索的検討	内田 遼介・釘原 直樹・河津慶太	201508	日本体育学会第 66 回大会予稿集 p146-
会議報告 /口頭発表	モノレール緊急停止時の適切な案内間隔の検討	高原龍二 (大阪経済大学経営学部)・釘原直樹	201509	日本心理学会第 79 回大会発表論文集 p1209-

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
会議報告 /口頭発表	詐欺への抵抗はどのようにして生まれるのか?	大工泰裕・釘原直樹	201509	日本応用心理学会第82回大会発表論文集 p37-
会議報告 /口頭発表	身体接触行動の異文化比較 — 日米韓の大学生の比較—	曹美庚 (阪南大学国際コミュニケーション学部) ・釘原直樹	201509	日本心理学会第79回大会発表論文集 p297-
会議報告 /口頭発表	Asch 型同調実験 (集団サイズ2人~8人)の30年ぶりの追試 現代の中高年と女性は集団圧力に弱い	釘原直樹・寺口司・内田遼介・阿形亜子	201510	日本社会心理学会第56回大会発表論文集 p86-
会議報告 /口頭発表	スポーツ集団における集会的効力感の評価形成過程	内田遼介・釘原直樹	201510	日本社会心理学会第56回大会発表論文集 p204-
会議報告 /口頭発表	テロリズムに対する心理学的アプローチテロリズムに関して心理学は何をしてきたか,しているのか—	釘原直樹	201510	日本心理学会第79回大会発表論文集 pSS(9)-
会議報告 /口頭発表	加害者は何を思う? 攻撃行動に対する評価と評価推測に集団カテゴリーが与える影響	寺口司・釘原直樹	201510	日本グループ・ダイナミックス学会第62回大会発表論文集 p136-137
会議報告 /口頭発表	家族形態に対する社会的距離に関する研究	武藤麻美・釘原直樹・桂田恵美子	201510	日本社会心理学会第56回大会発表論文集 p97-
会議報告 /口頭発表	恐怖管理理論に基づく募金行動促進要因の検討	法弁・釘原直樹	201510	日本社会心理学会第56回大会発表論文集 p1-
会議報告 /口頭発表	恐怖管理理論に基づく利他行動の促進要因の検討	法弁・釘原直樹	201510	日本グループ・ダイナミックス学会第62回大会発表論文集 p164-165
会議報告 /口頭発表	功利主義的義務感による利他行動	清水計法・釘原直樹	201510	
会議報告 /口頭発表	集団間のカテゴリーの重複が攻撃行動に及ぼす影響	正高杜夫・釘原直樹	201510	日本社会心理学会第56回大会発表論文集 p208-
会議報告 /口頭発表	日韓大学生の身体接触行動に関する比較研究	曹美庚 (阪南大学国際コミュニケーション学部) ・釘原直樹	201510	日本社会心理学会第56回大会発表論文集 p8-
会議報告 /口頭発表	被害者への共感的観察が詐欺に対する脆弱性認知に及ぼす影響	大工泰裕・阿形亜子・釘原直樹	201510	日本社会心理学会第56回大会発表論文集 p19-
専門著書	危機事態からの避難行動における意思決定 化学工場・研究所の事故対策と安全管理	釘原直樹	201504	技術情報協会 担当頁:197-206
一般著書	腐ったリンゴをどうするか? -- 手抜きを防ぐ方策はある	釘原直樹	201507	三五館
大学・研究所等の報告	群集と集団の社会心理学	釘原直樹	201505	群馬大学社会心理学セミナー報告 p1-15
解説・総説	自著を語る 「腐ったリンゴをどうするか?」手抜き対策は集団の多様性にも考慮して	釘原直樹	201511	週刊教育資料 1363号 p35-35

所属学系	行動学系	氏名	阿形 亜子
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	2 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	件	件
			副査	件	件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	名
	指導教員	名	名	留学生	名
	副指導教員	名	名	研究生	名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	件	件	1 件	件	件	件	件
	その他						

所属学系	行動学系	氏名	佐藤 眞一
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	21 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	3 件	0 件
			副査	0 件	2 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	4 名
	指導教員	7 名	4 名	留学生	1 名
	副指導教員	12 名	5 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	3 件	2 件	7 件	8 件	3 件	1 件	1 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	孤独感統制下における独自志向性と感情的ウェルビーイングの関連性の検討	豊島彩・佐藤眞一	201506	心理学研究 86, 142-149.
学術論文	介護職員の認知症に関する知識の普及度とその関連要因	大庭輝・数井裕光・佐藤眞一	201512	高齢者のケアと行動科学 20 巻 2 号 p135-155
学術論文	精神的健康と職場環境が介護職員の有能感に及ぼす影響	大庭輝・豊田麻美・佐藤眞一	201603	生老病死の行動科学 20, 3-12.
会議報告 /口頭発表	訪問看護事業所における遺族支援の現状と認識～支援の実施状況, 意義と有用性に関する要素について～	中里和弘・島田千穂・舞鶴史絵・野田京・石崎達郎・佐藤眞一・高橋龍太郎	201506	老年社会科学 37 巻 2 号 p238-
会議報告 /口頭発表	介護職員の有能感に影響を与える要因	大庭輝・豊田麻実・佐藤眞一	201509	日本心理学会第 79 回大会
会議報告 /口頭発表	記憶の衰え自覚尺度についての検討—メタ記憶における記憶の自信度尺度 (MSSC) との関連性について—	島内 晶・佐藤眞一・西村昭徳	201509	日本心理学会第 79 回大会
会議報告 /口頭発表	情動を喚起する画像 (IAPS) の評価に関する年齢差—情動価ごとの覚醒度に関する年齢差の検討—	上野大介・増本康平・佐藤眞一・権藤恭之	201509	日本心理学会第 79 回大会
会議報告 /口頭発表	研修参加による介護職員の有能感の変化	大庭輝・佐藤眞一	201511	日本老年行動科学会第 18 回気仙沼大会
会議報告 /口頭発表	後半生を豊に生きる「心」の保ち方～大衆長寿社会と社会参加～	佐藤眞一	201603	
国際会議 (proc.あり)	The impact of visual function on subjective well-being among centenarian.	Toyoshima, A., Martin, P., Sato, S., & Poon, L.	201506	The 22th International Consortium of Centenarian

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
国際会議 (proc.あり)	Association between competence and emotional strain in care workers.	Oba, H., & Sato, S.	201510	The 10th International Gerontology and Geriatrics-Asia/Oceania 2015 Congress
国際会議 (proc.あり)	Effect of Continuing Bonds with the Deceased on Bereaved Families' Adaptation.	Nakazato, S., Kawamura, R., & Sato, S.	201510	The 10th International Gerontology and Geriatrics-Asia/Oceania 2015 Congress
国際会議 (proc.あり)	Perceived Efficacy in End-of-life Care Provision among Japanese Long-term Care Staff.	Kubota, S., & Sato, S.	201511	The 68th Gerontological Society of America Annual Scientific Meeting
国際会議 (proc.あり)	The Influence of Personality on Retirement Evaluation, Social Resources, and Loneliness in Later Life.	Toyoshima, A., Lee, K., Martin, P., Sato, S., & Poon, L.	201511	The 68th Gerontological Society of America Annual Scientific Meeting
国際会議 (proc.あり)	The Influence of Vision Function and Social Support on Well-Being among Oldest-Old Adults: Findings from the Georgia Centenarian Study.	Toyoshima, A., Martin, P., Sato, S., & Poon, L.	201511	The 68th Gerontological Society of America Annual Scientific Meeting
国際会議 (proc.あり)	Correlation between valance and arousal ratings of emotional pictures in Japanese elderly adults.	Ueno, D., Masumoto, K., Sato, S. & Gondo, Y.	201603	2016 Annual Conference of Society for Affective Science
一般著書	後半生のこころの事典	佐藤眞一	201505	CCC メディアハウス
一般著書	健康介護コンシェルジュ検定 3級お助けハンドブック	一般社団法人健康介護コンシェルジュ協会監修, 佐藤眞一監修代表	201506	株式会社ど〜も
教科書	健康介護コンシェルジュ検定 3級公式テキストブック	一般社団法人健康介護コンシェルジュ協会監修, 佐藤眞一監修代表	201506	株式会社ど〜も
大学・研究所等の報告	平成26・27年度 春日丘荘・春日丘荘『彩の家』看取りケアプロジェクト 中間報告書	看取りプログラム検討委員会 (佐藤眞一ほか)	201603	
その他	認知症ケアにおけるアンドロイドの認知・行動学的意義と中高年ボランティアによるコミュニケーションの試み (中間報告)	佐藤眞一	201507	2014 三菱財団研究・事業報告書 140-141 (CD-ROM: 160, 1-13)
その他	学習支援研究がひらく豊かな生涯 (2)	山本博樹・吉田甫・田中真理・山中克夫・松川順子・佐藤眞一	201509	日本心理学会第79回大会公募シンポジウム
その他	高齢者研究:生涯発達心理学への回帰	豊島彩・佐藤眞一・野内類・川島大輔・高野裕治・安藤孝敏	201509	日本心理学会第79回大会公募シンポジウム
その他	超高齢社会におけるアクション・リサーチの可能性	片桐恵子・増本康平・菊池吉信・田渕恵・高橋知也・佐藤眞一	201509	日本心理学会第79回大会公募シンポジウム
その他	【シンポジウム】個人を守る住環境から、コミュニティと共存できる住環境へ	金沢善智・松尾清美・吉永美佐子・運上昌洋・佐藤眞一・江草典政・鶴田一夫・川瀬健介・岡本多喜子	201603	
その他	【パネルディスカッション】災害時の住環境について	狩野 徹・田口さつき・日下菜穂子・佐藤眞一	201603	第3回福祉住環境サミット

所属学系	行動学系	氏名	権藤 恭之
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	20 科目	②学位論文審査	博士	修士
			主査	0 件
			副査	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	3 名
	指導教員	1 名	2 名	留学生	1 名
	副指導教員	1 名	2 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	件	3 件	3 件	20 件	1 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	Generativity and Interaction Between the Old and Young: The Role of Perceived Respect and Perceived Rejection.	Tabuchi M, Nakagawa T, Miura A, Gondo Y.	201508	Gerontologist 55 巻 4 号 p537-547
学術論文	仕事の複雑性と高齢期の記憶および推論能力との関連	4) 石岡良子, 権藤恭之, 増井幸恵, 中川威, 田渕恵, 小川まどか, 神出計, 池邊一典, 新井康通, 石崎達郎, 高橋龍太郎	201508	心理学研究 86 巻 3 号 p219-229
学術論文	仕事の複雑性と高齢期の記憶および推論能力との関連	石岡良子, 権藤恭之, 増井幸恵, 中川威, 田渕恵, 小川まどか, 神出計, 池邊一典, 新井康通, 石崎達郎, 高橋龍太郎	201508	心理学研究 86 巻 3 号 p219-229
学術論文	Lower Protein Intake Mediates Association Between Lower Occlusal Force and Slower Walking Speed: From the Septuagenarians, Octogenarians, Nonagenarians Investigation with Centenarians Study.	Okada T, Ikebe K, Kagawa R, Inomata C, Takeshita H, Gondo Y, Ishioka Y, Okubo H, Kamide K, Masui Y, Takahashi R, Arai Y, Thomson WM, Maeda Y.	201511	J Am Geriatr Soc. 63 巻 11 号 p2382-2387
専門著書	アンチエイジング医学の基礎と臨床	本抗加齢医学会 専門医・指導士認定委員会編	201509	メジカルビュー社
解説・総説	百寿者のこころ、認知から感情まで	権藤恭之	201511	最新精神医学 20 巻 6 号 p465-471

所属学系	行動学系	氏名	中川 威
------	------	----	------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	9 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	0 件	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	0 名
	指導教員	0 名	0 名	留学生	0 名
	副指導教員	0 名	0 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	0 件	3 件	2 件	5 件	1 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	Generativity and Interaction Between the Old and Young: The Role of Perceived Respect and Perceived Rejection.	Tabuchi M, Nakagawa T, Miura A, Gondo Y.	201508	Gerontologist 55 巻 4 号 p537-547
学術論文	仕事の複雑性と高齢期の記憶および推論能力との関連	4) 石岡良子, 権藤恭之, 増井幸恵, 中川威, 田渕恵, 小川まどか, 神出計, 池邊一典, 新井康通, 石崎達郎, 高橋龍太郎	201508	心理学研究 86 巻 3 号 p219-229

○受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
201506	中川 威	平成 27 年度日本老年社会科学会奨励賞	日本老年社会科学会

所属学系	行動学系	氏名	青野 正二
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	18 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	3 件	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	1 名
	指導教員	0 名	0 名	留学生	0 名
	副指導教員	6 名	1 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	0 件	1 件	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	環境音及び音源側の評価とコミュニケーションの関係	青野正二, 河内なつみ	201507	日本音響学会騒音・振動研究会 N-2015-32, pp.1-8
会議報告 /口頭発表	騒音に関する経験を考慮した音の評価および環境配慮行動のモデル化	二階堂希, 青野正二	201603	日本音響学会春季研究発表会講演論文集 pp.1021-1024

所属学系	行動学系	氏名	白井 伸之介
------	------	----	--------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	22 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	1 件
			副査	1 件	4 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	5 名
	指導教員	1 名	5 名	留学生	0 名
	副指導教員	7 名	6 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	1 件	7 件	1 件	8 件	0 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	Psychological factors in nursing violations by students of a nursing school and risk managers in a hospital	Yuko ADACHI, Etsuko NAKAGAMI-YAMAUCHI, Tomoichiro MATSUMOTO, Shinnosuke USUI	201504	Osaka Human Sciences 1 巻 p117-139
学術論文	先行車と追従車の車種が高速道路走行中の車間時間に及ぼす影響	中井 宏、白井伸之介	201505	労働科学 90 巻 4 号 p130-137
学術論文	視界制限状態における航法の適用と運動ベクトル	淵真輝、藤本昌志、白井伸之介、廣野康平	201507	日本航海学会論文集 132 巻 p9-15
学術論文	エラー体験型教育の効果	森泉慎吾、白井伸之介、和田一成	201509	労働科学 90 巻 5 号 p171-182
学術論文	Design and assessment of effective signs for railroad-crossings	Ueda, M., Wada, K., & Usui, S	201510	Proceedings of Work On Safety p467-473
学術論文	特別な呼吸法の事前実施が緊急事態時の行動を改善させる	上田真由子、和田一成、白井伸之介	201510	感情心理学研究 22 巻 3 号 p103-109
学術論文	Predicting Driver's Intention Based on Own Vulnerability: A Social Interaction Process Between Road Users at an Intersection in Japan	Yasunori Kinosada, Shinnosuke Usui	201511	Japanese Psychological Research
学術論文	Measuring Attitudes toward Nursing Safety Violations	Adachi, Y., Usui S., Nakagami -Yamaguchi E., Fujinaga K., Nakamura K., Park K., and Nakatani T.	201602	Perceptual and Motor Skills 122 巻 1 号 p5-26

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	速度違反抑制に効果的なメッセージと提示タイミング	五十嵐彩那、臼井伸之介	201602	交通科学 46 巻 1 号 p13-24
学術論文	THE RELATIONSHIP BETWEEN RISK PROPENSITY	Shingo MORIIZUMI, Shinnosuke USUI	201603	Osaka Human Sciences
会議報告 /口頭発表	事前の特別な呼吸が心拍変動に及ぼす影響	上田真由子、和田一成、臼井伸之介	201505	日本感情心理学会第 23 回大会
会議報告 /口頭発表	救急搬送データにおける 6 歳から 12 歳児童の事故の分析 (2)	岡 真裕美、安達悠子、中井 宏、臼井伸之介	201506	日本人間工学会第 55 回大会発表論文集 130-131
会議報告 /口頭発表	リスクテイキング行動のプロセスを考慮した踏切注意喚起標識の評価	上田真由子、森本陽平、和田一成、臼井伸之介	201509	日本応用心理学会第 82 回大会発表論文集 72
会議報告 /口頭発表	違反抑制に向けたメッセージ表現と提示タイミングの研究	五十嵐彩那、臼井伸之介	201509	日本心理学会第 79 回大会発表論文集 178
会議報告 /口頭発表	実行意図の形成が非焦点的な展望的記憶課題に与える影響	松原真弓、臼井伸之介	201509	日本応用心理学会第 82 回大会発表論文集 87
会議報告 /口頭発表	宣言文音読による実行意図形成が展望的記憶に与える影響	松原真弓、臼井伸之介	201509	日本心理学会第 79 回大会発表論文集 816
会議報告 /口頭発表	速度違反抑制のためのメッセージ表現と提示タイミングに関する研究	五十嵐彩那、臼井伸之介	201509	日本応用心理学会第 82 回大会発表論文集 17
会議報告 /口頭発表	児童の自主性を生かした安全教育の効果—校外版「ひなどり」の実践—	岡 真裕美、森泉慎吾、太子のぞみ、中井 宏、安達悠子、臼井伸之介	201512	平成 27 年度日本人間工学会関西支部大会講演論文集 112-122
会議報告 /口頭発表	児童の自主性を生かした安全教育の効果—校外版「ひなどり」の実践—	岡真裕美、森泉慎吾、太子のぞみ、中井宏、安達悠子、臼井伸之介	201512	平成 27 年度日本人間工学会関西支部大会 講演論文集 p121-122
会議報告 /口頭発表	歩行中の携帯電話操作とリスク補償との関係	森泉 慎吾・臼井伸之介	201512	交通科学研究会平成 27 年度研究発表会
専門著書	現代社会と応用心理学 4 メンタルヘルス・安全 「事故とヒューマンエラー」	臼井伸之介	201512	福村出版

○受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
201512	岡 真裕美、森泉慎吾、太子のぞみ、中井 宏、安達悠子、臼井伸之介	日本人間工学会関西支部優秀発表賞	日本人間工学会関西支部

所属学系	行動学系	氏名	森泉 慎吾
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	0 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	0 件	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	0 名
	指導教員	0 名	0 名	留学生	0 名
	副指導教員	0 名	0 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	0 件	1 件	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	エラー体験型教育の効果	森泉慎吾, 白井伸之介, 和田一成	201509	労働科学 90 巻 5 号 p171-182
学術論文	THE RELATIONSHIP BETWEEN RISK PROPENSITY	Shingo MORIIZUMI, Shinnosuke USUI	201603	Osaka Human Sciences
会議報告 /口頭発表	リスク受容時におけるベネフィットがリスク認知に及ぼす影響—効果的な安全教育への展望—	森泉 慎吾	201509	日本心理学会第 79 回大会
会議報告 /口頭発表	児童の自主性を生かした安全教育の効果—校外版「ひなどり」の実践—	岡真裕美, 森泉慎吾, 太子のぞみ, 中井宏, 安達悠子, 白井伸之介	201512	平成 27 年度日本人間工学会関西支部大会 講演論文集 p121-122
会議報告 /口頭発表	歩行中の携帯電話操作とリスク補償との関係	森泉 慎吾・白井伸之介	201512	交通科学研究会平成 27 年度研究発表会

所属学系	行動学系	氏名	日野林 俊彦
------	------	----	--------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	16 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	2 件	1 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	3 名
	指導教員	0 名	0 名	留学生	0 名
	副指導教員	2 名	1 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	件	件	件	1 件	件	件	件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
会議報告 /口頭発表	沖縄における発達加速	日野林俊彦, 清水 (加藤) 真由子, 大西賢治, 金澤忠博, 赤井誠生	201509	日本心理学会第 79 回大会発表論文 集 1048

所属学系	行動学系	氏名	金澤 忠博
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	17 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	1 件	0 件
			副査	1 件	2 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	3 名
	指導教員	2 名	1 名	留学生	0 名
	副指導教員	1 名	3 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	0 件	2 件	2 件	8 件	0 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
会議報告 /口頭発表	沖縄における発達加速	日野林俊彦, 清水(加藤)真由子, 大西賢治, 金澤忠博, 赤井誠生	201509	日本心理学会第 79 回大会発表論文集 1048

所属学系	行動学系	氏名	清水 真由子
------	------	----	--------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	3 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	0 件	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	0 名
	指導教員	0 名	0 名	留学生	0 名
	副指導教員	0 名	0 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	0 件	0 件	0 件	2 件	0 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	向社会的行動に関する比較発達心理学的検討	清水(加藤)真由子	201503	未来共生学第2号
会議報告 /口頭発表	共同意図に基づいた抑制的協力行動の発達	清水(加藤)真由子, 乾愛有美, 金澤忠博, 日野林俊彦	201509	日本心理学会第79回大会発表論文集
会議報告 /口頭発表	沖縄における発達加速	日野林俊彦, 清水(加藤)真由子, 大西賢治, 金澤忠博, 赤井誠生	201509	日本心理学会第79回大会発表論文集

所属学系	行動学系	氏名	志村 剛
------	------	----	------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	21 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	3 件
			副査	0 件	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	8 名
	指導教員	1 名	4 名	留学生	0 名
	副指導教員	0 名	0 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	0 件	6 件	0 件	10 件	0 件	1 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	甘味溶液の過剰摂取を行うマウスにおけるリック行動の変化: ペプチド YY 末梢投与が与える影響	山口恵里奈, 八十島安伸, 志村 剛	201512	日本味と匂学会誌 22, 3, 301-304
学術論文	中脳吻側内側被蓋核は味覚嫌悪学習の消去に関与する	須永 佑, 乾 賢, 志村 剛	201512	日本味と匂学会誌 22, 3, 297-300
学術論文	慢性的なショ糖の過剰摂取過多を経験したマウスは蔗糖に対する嗜好性が高い状態を維持する	西岡春奈, 八十島安伸, 志村 剛	201512	日本味と匂学会誌 22, 3, 309-312
学術論文	味覚嫌悪学習の想起におけるラット扁桃体基底外側核の役割—接近・摂取行動の微細分析—	乾賢, 志村剛	201512	日本味と匂学会誌 22 巻 3 号 p269-272
学術論文	味覚嫌悪学習の想起におけるラット扁桃体基底外側核の役割—接近・摂取行動の微細分析—	乾 賢, 志村 剛	201512	日本味と匂学会誌 22, 3, 269-272
学術論文	扁桃体の一時的不活性化による味覚性新奇恐怖の減弱	米倉野超, 乾 賢, 志村 剛	201512	日本味と匂学会誌 22,3, 305-308
解説・総説	味覚	志村 剛	201505	Clinical Neuroscience 33, 5, 513-515

所属学系	行動学系	氏名	八十島 安伸
------	------	----	--------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	19 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	0 件	5 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	2 名
	指導教員	0 名	0 名	留学生	0 名
	副指導教員	1 名	5 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	1 件	2 件	0 件	5 件	0 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	甘味溶液の過剰摂取を行うマウスにおけるリック行動の変化: ペプチド YY 末梢投与が与える影響	山口恵里奈, 八十島安伸, 志村 剛	201512	日本味と匂学会誌 22, 3, 301-304
学術論文	慢性的なショ糖の過剰摂取過多を経験したマウスは蔗糖に対する嗜好性が高い状態を維持する	西岡春奈, 八十島安伸, 志村 剛	201512	日本味と匂学会誌 22, 3, 309-312

所属学系	行動学系	氏名	乾 賢
------	------	----	-----

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	1 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	0 件	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	0 名
	指導教員	0 名	0 名	留学生	0 名
	副指導教員	0 名	0 名	研究生	0 名
				その他	

(2)平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	0 件	3 件	2 件	2 件	0 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	中脳吻側内側被蓋核は味覚嫌悪学習の消去に關与する	須永 佑, 乾 賢, 志村 剛	201512	日本味と匂学会誌 22, 3, 297-300
学術論文	味覚嫌悪学習の想起におけるラット扁桃体基底外側核の役割 – 接近・摂取行動の微細分析 –	乾賢, 志村剛	201512	日本味と匂学会誌 22 卷 3 号 p269-272
学術論文	味覚嫌悪学習の想起におけるラット扁桃体基底外側核の役割 – 接近・摂取行動の微細分析 –	乾 賢, 志村 剛	201512	日本味と匂学会誌 22, 3, 269-272
学術論文	扁桃体の一時的不活性化による味覚性新奇恐怖の減弱	米倉野超, 乾 賢, 志村 剛	201512	日本味と匂学会誌 22,3, 305-308

所属学系	行動学系	氏名	足立 浩平
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	15 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	2 件
			副査	0 件	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	2 名
	指導教員	1 名	2 名	留学生	1 名
	副指導教員	0 名	0 名	研究生	0 名
				その他	0

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	4 件	4 件	5 件	8 件	0 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	A New Algorithm for Generalized Least Squares Factor Analysis with a Majorization Technique	Kohei Adachi	201504	Open Journal of Statistics 5 巻 p165-172
学術論文	Sparse principal component analysis subject to prespecified cardinality of loadings	Kohei Adachi & Nickolay T. Trendafilov	201507	Computational Statistics DOI: 10.1007/s00180-015-0608-4
学術論文	Fixed factor analysis with clustered factor score constraint	Kohei Uno, Hironori Satomura, Kohei Adachi	201509	Computational Statistics and Data Analysis in Press
学術論文	Sparse versus simple structure loadings	Nickolay T. Trendafilov and Kohei Adachi	201509	Psychometrika 80 巻 3 号 p776-790
学術論文	Sparse Tucker2 analysis of three-way data subject to a constrained number of zero elements in a core array	Hiroki Ikemoto & Kohei Adachi	201601	Computational Statistics and Data Analysis 98 巻 p1-18
会議報告 /口頭発表	Sparse structural equation modeling for finding inter-factor causal relationships	Kohei Adachi & Nickolay T. Trendafilov	201505	日本計算機統計学会第 29 回大会講演論文集 53-56
会議報告 /口頭発表	制約付き因子得点による個体の判別	宇野光平・足立浩平	201505	日本計算機統計学会第 29 回大会講演論文集 57-58
会議報告 /口頭発表	Higher rank approximation and matrix decomposition factor analysis	Kohei Adachi	201509	2015 年度統計関連学会連合大会講演報告集 p37-37
会議報告 /口頭発表	行列モデル因子分析における因子得点の計算	宇野光平・足立浩平	201509	日本行動計量学会第 43 回大会抄録集 p338-341

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
会議報告 /口頭発表	Some Theorems for Matrix Decomposition Factor Analysis	足立浩平	201511	日本計算機統計学会 第29回シン ポジウム講演論文集 89-92
会議報告 /口頭発表	離散値制約によるファジィクラ スタリング	仲 大樹・足立コウヘ イ	201511	日本計算機統計学会 第29回シン ポジウム講演論文集 139-142
会議報告 /口頭発表	Three-way principal component analysis with constrained cardinality of a core matrix: A case of oblique component	池本大樹・H. A. L. Kiers・足立浩平	201602	統計数理研究所共同研究「行列分 解型多変量データ解析法に関する 研究」研究会
会議報告 /口頭発表	スパースな核配列をもつ三相主 成分分析法-因子回転法との比較 -	池本大樹・足立浩平	201603	日本分類学会第34回大会予稿集 pp. 15-17
国際会議 (proc.あり)	Factor Analysis of High-Dimensional Data with Clustering Variables	Kohei Adachi & Nickolay T. Trendafilov	201510	Proceedings of the 2015 International Workshop for JSCS 30th Anniversary in Okinawa pp. 15-16
国際会議 (proc.なし)	Clustered factor score identification in matrix-factorization factor analysis	Kohei Uno & Kohei Adachi	201507	International Meeting of Psychometric Society, 2015
国際会議 (proc.なし)	Psychometrics in Japan	Kohei Adachi	201507	International Meeting of Psychometric Society, 2015
国際会議 (proc.なし)	Sparse core Tucker2 for computationally identifying the optimal model between parafac and Tucker2	Hiroki Ikemoto & Kohei Adachi	201507	International Meeting of Psychometric Society, 2015
国際会議 (proc.なし)	Comprehensive Factor Analysis by a Matrix Decomposition Approach	Kohei Adachi & Nickolay T. Trendafilov	201512	Book of Abstracts, CFE-CMStatistics 2015 p. 96
専門著書	数学セミナー54巻6号(統計教 育大学間連携ネットワーク監修 「重回帰分析」, 69-75頁)	足立浩平	201505	日本評論社 担当頁:69-75
専門著書	数学セミナー54巻7号(統計教 育大学間連携ネットワーク監修 「主成分分析と因子分析」, 69-75 頁)	足立浩平	201506	日本評論社
専門著書	数学セミナー54巻8号(統計教 育大学間連携ネットワーク監修 「正準相関・多重対応・判別・ク ラスタ分析」, 66-72頁)	足立浩平	201507	日本評論社
専門著書	Applied Matrix and Tensor Variate Data Analysis (Toshio Sakata (Ed.)) pp. 1-21, Three-Way Principal Component Analysis with Its Applications to Psychology	Kohei Adachi	201602	Springer

所属学系	行動学系	氏名	宮本 友介
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	7 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	件	件
			副査	件	件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	名
	指導教員	名	名	留学生	名
	副指導教員	名	名	研究生	名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	件	件	件	件	1 件	1 件	件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	釜ヶ崎にみるバザールの知	宮本 友介	201603	Communication-Design 2005-2015 p50-57

所属学系	行動学系	氏名	中野 良彦
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	19 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	0 件	2 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	3 名
	指導教員	0 名	0 名	留学生	0 名
	副指導教員	0 名	2 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	0 件	1 件	0 件	2 件	0 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	Morphology of the thoracolumbar spine of the middle Miocene hominoid <i>Nacholapithecus kerioi</i> from northern Kenya.	Kikuchi.Y., Nakatsukasa.M., Nakano.Y., Kunimatsu.Y., Shimizu.D., Ogihara.N., Tsujikawa.H., Takano.T., Ishida.H	201511	Journal of Human Evolution 88:25-42
会議報告 /口頭発表	Spinous process morphology of caudal thoracic vertebra (KNM-BG 42810B) in <i>Nacholapithecus kerioi</i> , a Miocene hominoid from northern Kenya.	KIKUCHI.Y., NAKANO.Y., NAKATSUKASA.M, KUNIMATSU.Y., SHIMIZU.D., OGIHARA.N., TSUJIKAWA.H., TAKANO.T., ISHIDA.H.	201512	Anthropological Science 123(3):222.
会議報告 /口頭発表	The arrangement of pelvis and vertical column in primates.	Nakano, Y.	201512	Anthropological Science 123(3):221.

所属学系	行動学系	氏名	後藤 遼佑
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	0 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	0 件	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	0 名
	指導教員	0 名	0 名	留学生	0 名
	副指導教員	0 名	0 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	0 件	0 件	0 件	2 件	0 件	0 件	0 件
	その他						

所属学系	行動学系	氏名	中道 正之
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	10 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	1 件	4 件
			副査	0 件	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	0 名
	指導教員	1 名	6 名	留学生	1 名
	副指導教員	0 名	0 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	0 件	4 件	2 件	10 件	0 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	The effect of solicitations on grooming exchanges among female Japanese macaques at Katsuyama	Ueno.M., Yamada. K., Nakamichi, M.	201504	Primates 55 巻 p81-87
学術論文	Emotional states after grooming interactions in Japanese macaques (Macaca fuscata)	Ueno. M, Yamada. K. Nakamichi. M.	201512	Journal of Comparative Psychology 129 巻 p394-401
学術論文	Function of grunts, girneys and coo calls of Japanese macaques (Macaca fuscata) in relation to call usage, age and dominance relationships	Katsu. N., Yamada. K., Nakamichi. M.	201602	Behaviour 153 巻 2 号 p125-142

所属学系	行動学系	氏名	太子 のぞみ
------	------	----	--------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	2 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	0 件	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	0 名
	指導教員	0 名	0 名	留学生	0 名
	副指導教員	0 名	0 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	1 件	2 件	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
会議報告 /口頭発表	児童の自主性を生かした安全教育の効果—校外版「ひなどり」の実践—	岡真裕美, 森泉慎吾, 太子のぞみ, 中井宏, 安達悠子, 白井伸之介	201512	平成 27 年度日本人間工学会関西支部大会 講演論文集 p121-122

### 5-3. 社会学系

講座名等	教員氏名
社会環境学	友枝 敏雄
社会環境学	稲場 圭信
社会環境学	川端 亮
社会環境学	吉川 徹
社会環境学	伊藤 理史
社会環境学	牟田 和恵
社会環境学	辻 大介
社会環境学	Scott NORTH
社会環境学	山中 浩司
社会環境学	斉藤 弥生
社会環境学	遠藤 知子
社会学系共通	高松 里江
社会学系共通	竹田 恵子

所属学系	社会学系	氏名	友枝 敏雄
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	16 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	1 件	1 件
			副査	2 件	5 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	5 名
	指導教員	0 名	5 名	留学生	1 名
	副指導教員	4 名	10 名	研究生	0 名
				その他	

(2)平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	1 件	0 件	0 件	1 件	0 件	2 件	0 件
その他	翻訳者の 1 人として参画した「スクリプナー思想史大事典」(全 10 巻)が丸善出版より刊行されることになった(2016 年 4 月刊行予定)。						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
専門著書	『リスク社会を生きる若者たち —高校生を意識調査から—』	友枝敏雄編	201504	大阪大学出版会 担当頁:1 頁-12 頁,102 頁-126 頁,206 頁-208 頁

所属学系	社会学系	氏名	稲場 圭信
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	18 科目	②学位論文審査	博士	修士
			主査	0 件
			副査	3 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	3 名
	指導教員	1 名	7 名	留学生	7 名
	副指導教員	5 名	8 名	研究生	2 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	件	2 件	件	4 件	1 件	2 件	1 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	Religious Altruism and Its Contribution to Society	Keishin Inaba	201504	Dharma World 42 巻 p15-17
学術論文	Religion's Response to the Earthquake and Tsunami in Northeastern Japa	稲場圭信	201602	大阪大学大学院人間科学研究科紀要 42 巻 p43-59
学術論文	Religious Altruism	Keishin INABA	201603	Osaka Human Sciences 2 号 p73-84
学術論文	ネパール地震被災地の災害対応に学ぶ防災の可能性	渥美公秀、稲場圭信、河村信治、乾陽亮	201603	文部科学省科学研究費補助金(特別研究促進費)「2015年ネパール地震と地震災害に関する総合調査」報告書 p141-146
会議報告/口頭発表	「世界の人々が討議した宗教者の防災行動のすすめー第3回国連防災世界会議に参加して」	稲場圭信	201505	月刊住職 2015年5月号,107-113頁
会議報告/口頭発表	宗教施設と自治体の災害協定の現状ー災害が起きたら寺院は何ができるのか自治体との協定を見る	稲場圭信	201506	月刊住職 2015年6月号,90-97頁
会議報告/口頭発表	世俗社会におけるSGIーイギリスを事例としてー	稲場圭信	201509	日本宗教学会第74回学術大会
会議報告/口頭発表	国際会議報告:第3回国連防災世界会議における宗教	稲場圭信、黒崎浩行	201510	宗教と社会貢献 5 巻 2 号 p73-94
会議報告/口頭発表	被災地の記憶と震災伝承ー気仙沼震災伝承マップの取り組み	稲場圭信	201603	モノ学・感覚価値研究 10 号 p63-69
教科書	「利他主義と宗教のアクションリサーチ」河森正人・栗本英世・志水宏吉編著『共生学が創る世界』	稲場圭信	201603	大阪大学出版会 担当頁:211-222

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
書評	震災メモリー第二の津波に抗してー	稲場圭信	201506	フォーラム現代社会学 p101-103
大学・研究所等の報告	自治体と宗教施設との災害協定に関する調査報告	稲場圭信	201504	宗教と社会貢献 第5巻第1号,71-86頁.
解説・総説	危機に依り処となる仏教	稲場圭信	201504	法華 第5巻第1号,71-86頁
解説・総説	災害救援と宗教施設	稲場圭信	201504	きんか Vol.67 No.4, 1-4頁

○受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
201507	稲場圭信	大阪大学総長顕彰	大阪大学

所属学系	社会学系	氏名	川端 亮
------	------	----	------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	15 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	1 件	2 件
			副査	1 件	3 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	4 名
	指導教員	3 名	4 名	留学生	3 名
	副指導教員	5 名	6 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	件	1 件	件	1 件	件	件	件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	宗教的信念における共通の因子 － 8 カ国調査の結果から－	川端 亮	201603	大阪大学大学院人間科学研究科紀 要 42 巻 p189-208
会議報告 /口頭発表	ヨーロッパにおける SGI-リーダ ーシップと現地での受容－	川端 亮	201509	日本宗教学会第 74 回学術大会

所属学系	社会学系	氏名	吉川 徹
------	------	----	------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	15 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	1 件	1 件
			副査	2 件	5 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	10 名
	指導教員	4 名	2 名	留学生	1 名
	副指導教員	4 名	4 名	研究生	2 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	2 件	1 件	1 件	1 件	1 件	1 件	1 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
一般著書	『1980年代』	吉川徹ほか	201602	河出書房 担当頁:83-94
一般著書	『放送メディア研究 13』	吉川徹ほか	201602	NHK 放送文化研究所 担当頁:215-230
解説・総説	親の学歴差が生み出す教育機会の不平等	吉川徹	201505	中央公論 6月号 p50-55

所属学系	社会学系	氏名	伊藤 理史
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	0 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	0 件	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	0 名
	指導教員	0 名	0 名	留学生	0 名
	副指導教員	0 名	0 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	0 件	3 件	0 件	3 件	0 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	「現代日本における大衆民主主義の変容：階級・階層研究としての日本政治社会学再考」	伊藤理史	201602	『大阪大学大学院人間科学研究科紀要』 42 巻 p309-328
学術論文	「「大阪市民の政治・市民参加と選挙に関する社会調査」の概要と基礎的分析：大阪市区の地点データを用いた自治会・町内会への加入・参加のマルチレベル分析」	伊藤理史	201603	『社会と調査』 16 巻 p52-57
学術論文	「2011 年大阪市長・府知事選挙における投票行動の規定要因分析：有権者の階層に注目して」	伊藤理史	201603	『年報人間科学』 37 巻 p1-15

所属学系	社会学系	氏名	牟田 和恵
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	14 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	2 件	0 件
			副査	0 件	6 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	14 名
	指導教員	9 名	4 名	留学生	3 名
	副指導教員	4 名	9 名	研究生	1 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	1 件	4 件	0 件	3 件	2 件	1 件	1 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	「『ケアの倫理』と法の接近可能性」	牟田和恵	201507	『ジェンダーと法』 12号 p61-65
学術論文	「愛する---恋愛をく救う>ために」	牟田和恵	201510	『ジェンダーで学ぶ社会学』世界思想社 p66-79
学術論文	セクハラ問題から見るジェンダー平等への道--問題化の歴史を振りかえって	牟田和恵	201603	『法社会学』 82号 p111-122
一般著書	『新版 ジェンダーで学ぶ社会学』	牟田和恵	201509	世界思想社
書評	書評 湯川やよい『アカデミック・ハラスメントの社会学』	牟田和恵	201506	『社会学評論』 66巻 1号 p148-150
解説・総説	「セクハラに気づかない男たち、No と言えない女たち」	牟田和恵	201504	ニッポン・ドットコム
解説・総説	「「夫婦同姓」合憲判決が示す“ザ・日本人”の家族観」	牟田和恵	201603	ニッポン・ドットコム
その他	「セクハラが社会を変えた」	上野千鶴子・牟田和恵 (対談)	201505	現代思想 p251-283
その他	「ハラスメントの社会学」	牟田和恵	201603	『月報司法書士』 529号 p4-11

所属学系	社会学系	氏名	辻 大介
------	------	----	------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	13 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	1 件	6 件
			副査	3 件	2 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	9 名
	指導教員	3 名	8 名	留学生	6 名
	副指導教員	10 名	5 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	2 件	1 件	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	マーケティングと広告表現	辻大介	201505	日本語学 34 巻 6 号 p34-42
会議報告 /口頭発表	現代的な友人関係の幸福と不安	辻大介	201509	金沢大学「若年世代の人間科学」 プロジェクト・シンポジウム
教科書	よくわかる社会情報学	西垣通, 伊藤守, 辻大介, 他	201505	ミネルヴァ書房 担当頁:62-63
教科書	ジェンダーで学ぶ社会学	伊藤公雄, 牟田和恵, 辻大介, 他	201510	世界思想社
翻訳作品	友情化する社会—断片化のなかの新たな〈つながり〉	デボラ・チェンバース, 辻大介, 久保田裕之, 東園子, 藤田智博	201512	岩波書店

所属学系	社会学系	氏名	スコット・ノース
------	------	----	----------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	20 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	2 件
			副査	2 件	5 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	14 名
	指導教員	2 名	3 名	留学生	1 名
	副指導教員	8 名	10 名	研究生	1 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	0 件	1 件	1 件	2 件	1 件	件	件
	その他	記念講演 1 件					

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	Hope Found in Lives Lost: Overwork Deaths (Karoshi) and Pursuit of Worker Rights in Japan	「Scott North」 「Rika Morioka」	201603	Contemporary Japan 28 巻 1 号 p59-80

所属学系	社会学系	氏名	山中 浩司
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	16 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	1 件	2 件
			副査	2 件	4 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	6 名
	指導教員	7 名	6 名	留学生	3 名
	副指導教員	5 名	9 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	2 件	件	2 件	2 件	件	件	件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
会議報告 /口頭発表	希少疾患と社会的困難 —当事者への聞き取り調査から—	山中浩司, 野島那津子, 樋口麻里	201505	第 41 回日本保健医療社会学会大会
会議報告 /口頭発表	疾病概念と人間種 ——フレックとハッキングの論考から——	山中浩司	201510	第 4 回 科学社会学会大会
国際会議 (proc.なし)	Disease, Illness and Sickness: Three dimensions of illness experiences in the cases of rare disease patients.	Yamanaka, H., Nojima, N.	201509	BSA Medical Sociology Group 47th Annual Conference
国際会議 (proc.なし)	Loop in and out: Three pathways for obesity to become a disease	Yamanaka, H., Furukawa, T.	201511	4S Annual Meeting Denver

所属学系	社会学系	氏名	斉藤 弥生
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	20 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	3 件	0 件
			副査	1 件	3 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	6 名
	指導教員	1 名	2 名	留学生	1 名
	副指導教員	1 名	5 名	研究生	0 名
				その他	0

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	2 件	2 件	4 件	4 件	0 件	2 件	1 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	社会サービスの「共同生産」パートナーとしての市民：南医療生協の取り組みを事例として	斉藤弥生	201603	地域福祉研究 44 号 p13-24
国際会議 (proc.あり)	Care Relations in Eldercare in Japan and Denmark	Nobu Ishiguro, Yayoi Saito	201509	13th Annual ESPAnet conference
国際会議 (proc.なし)	Comparative Eldercare from Care Workers Perspective: Germany, Japan and Sweden	Hildegard Theobald, Yayoi Saito, Nobu Ishiguro	201509	Eldercare Workshop at Vechta University

所属学系	社会学系	氏名	遠藤 知子
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	19 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	3 件	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	0 名
	指導教員	0 名	0 名	留学生	0 名
	副指導教員	3 名	6 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	1 件	1 件	1 件	件	2 件	件	件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	Devolving public duties: can the social economy fulfil social rights?	Chikako Endo, Sang Hun Lim	201512	Policy and Politics 0 号
会議報告 /口頭発表	State, Market and Third Sector in the Development of the Social Economy: The Case of South Korea	Sang Hun Lim, Chikako Endo	201507	5th EMES International Research Conference
一般著書	これからの社会的企業に求められるものは何か	川村暁雄、川本健太郎、柴田学、武田丈	201504	ミネルヴァ書房 担当頁:22・43

所属学系	社会学系	氏名	高松 里江
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	0 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	0 件	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	0 名
	指導教員	0 名	0 名	留学生	0 名
	副指導教員	0 名	0 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	3 件	件	件	件	2 件	件	件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
会議報告 /口頭発表	対人労働は仕事満足度および賃金満足度を高めるのか	高松里江	201508	第 60 回数理社会学会
会議報告 /口頭発表	所得が上がるほど幸せか——準拠集団仮説の検討	高松里江	201603	第 61 回数理社会学会
専門著書	格差社会の中の高校生: 家族・学校・進路選択	中澤渉・藤原翔	201509	勁草書房
専門著書	“Where the Materialism still Matters: Self-Identity in Social Hierarchy in East Asia”, Tarohmaru, Hiroshi (ed.), Labor Market and Social Stratification in East Asia: A Global Perspective	Chin-fen Chang, Gui-hua Xie, Rie Takamatsu, and Young-mi Kim	201512	Brill Academic Pub
教科書	計量社会学入門 — 社会をデータでよむ	数理社会学会監修、筒井淳也・神林博史・長松奈美江・渡邊大輔・藤原翔編	201512	世界思想社 担当頁:76-87

所属学系	社会学系	氏名	竹田 恵子
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	1 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	件	件
			副査	件	件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	名
	指導教員	名	名	留学生	名
	副指導教員	名	名	研究生	名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	件	1 件	件	件	件	件	件
	その他						

#### 5-4. 人間学系

講座名等	教員氏名
基礎人間科学	中山 康雄
基礎人間科学	村上 靖彦
基礎人間科学	Wolfgang Schwentker
基礎人間科学	中川 敏
基礎人間科学	栗本 英世
基礎人間科学	森田 敦郎
基礎人間科学	白川 千尋

所属学系	人間学系	氏名	中山 康雄
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	22 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	2 件
			副査	0 件	2 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	2 名
	指導教員	2 名	4 名	留学生	0 名
	副指導教員	2 名	3 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	1 件	3 件	4 件	0 件	0 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	母子関係の存在論的分析	中山 康雄	201602	大阪大学大学院人間科学研究科紀要 42 巻 p291-307
国際会議 (proc.あり)	Extended Agents and Development of Science and Technology	Nakayama, Yasuo	201508	Book of Abstracts: 15th Congress of Logic, Methodology and Philosophy of Science, CLMPS 2015, 3-8 August 2015, University of Helsinki p379-379
国際会議 (proc.あり)	Extended Epistemic Agents and an Acceptable Form of Relativism	Nakayama, Yasuo	201508	Realism – Relativism – Constructivism, Contributions of the 38th International Wittgenstein Symposium p206-208
国際会議 (proc.あり)	McTaggart's Theory of Time and Four-dimensional Event-based Ontology	Nakayama, Yasuo	201511	KAIST/KSAP International Workshop: Logic and Time: The Legacy of Arthur N. Prior p61-95
専門著書	"Formal Analysis of Epistemic Modalities and Conditionals based on Logic of Belief Structures" In: T. Murata, K. Mineshima, D. Bekki, (eds.) New Frontiers in Artificial Intelligence (Lecture Notes in Computer Science Vol.9067), pp. 37-52	Nakayama, Yasuo	201509	Springer Verlag 担当頁:37-52
その他	2015 年度石本賞選考結果報告	中山康雄	201512	科学哲学 48 巻 2 号 p120-122

所属学系	人間学系	氏名	村上 靖彦
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	22 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	3 件	5 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	0 名
	指導教員	8 名	3 名	留学生	0 名
	副指導教員	5 名	8 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	1 件	5 件	1 件	5 件	0 件	0 件	1 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	仙人と妄想デートする ACT による重度の精神障害者への在宅支援と反転された精神病理学	村上靖彦	201504	現代思想 43 巻 12 号 p213-227
学術論文	Le soin infirmier dans l'hopital psychiatrique au Japon et la mise hors circuit de l'institution medicale	Yasuhiko Murakami	201505	Revue Institutions 55 巻 p57-71
学術論文	現象学的な質的研究の方法論	村上靖彦	201510	看護研究 48 巻 6 号 p558-566
学術論文	現象学的な質的研究の多様性	村上靖彦	201510	看護研究 48 巻 6 号 p567-570
学術論文	男子急性期閉鎖病棟と訪問看護のはざままで 精神科看護師へのインタビューによる現象学的な質的研究	村上靖彦	201602	大阪大学大学院人間科学研究科紀要 42 巻 p1-18
会議報告 /口頭発表	現象とはリアリティである 現象学的な質的研究の方法論	村上靖彦	201508	臨床実践の現象学会
会議報告 /口頭発表	現象学的な質的研究の多様性	村上靖彦	201508	臨床実践の現象学会
会議報告 /口頭発表	現象学的な質的研究の方法論	村上靖彦	201508	臨床実践の現象学会
会議報告 /口頭発表	死ぬのに楽しい訪問看護における看取りとレヴィナス、ハイデガー	村上靖彦	201509	ハイデガーフォーラム
会議報告 /口頭発表	La jouissance dans le soin palliatif a domicile	Yasuhiko Murakami	201511	Prendre soin des subjectivités. Aspects critiques et phénoménologiques.

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
会議報告 /口頭発表	現象学的方法論の学問的基盤と 現象の読み取り方	村上靖彦	201512	看護科学学会
専門著書	『障害受容からの自由』（「家族 による障害受容の一例」）	村上靖彦（田島明子 編著）	201510	CBR 担当頁:85-93

所属学系	人間学系	氏名	W.シュヴェントカー
------	------	----	------------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	26 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	1 件	1 件
			副査	0 件	4 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	0 名
	指導教員	2 名	2 名	留学生	0 名
	副指導教員	0 名	4 名	研究生	2 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	2 件	2 件	2 件	0 件	0 件	1 件	5 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	"Karisuma" in Japan? Übersetzung, Deutung und Anwendung einer fremdkulturellen Kategorie	Wolfgang Schwentker	201510	Geschichte intellektuell
専門著書	Geschichtsdenken im modernen Japan	Wolfgang Schwentker, Mishima Ken'ichi	201508	Iudicium
書評	Abseits des politischen Mainstreams: Christopher Gerteis/Timothy S. George (eds.), Japan Since 1945	Wolfgang Schwentker	201504	59 巻 1 号 p331-333
書評	Florian Neumann, Politisches Denken im Japan des frühen 20. Jahrhunderts. Das Beispiel Uesugi Shinkichi (1878-1929)	Wolfgang Schwentker	201504	63 巻 4 号 p394-395
書評	Sybille Höhe, Religion, Staat und Politik in Japan: Geschichte und zeitgeschichtliche Bedeutung von Sōka Gakkai, Kōmeitō und Neuer Kōmeitō	Wolfgang Schwentker	201504	Das Historisch-Politische Buch 63 巻 4 号 p395-396
書評	Naoto Kan, Als Premierminister während der Fukushima-Krise	Wolfgang Schwentker	201511	Fachbuchjournal 6 巻 p28-

所属学系	人間学系	氏名	中川 敏
------	------	----	------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	7 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	0 件	2 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	6 名
	指導教員	2 名	2 名	留学生	2 名
	副指導教員	5 名	2 名	研究生	0 名
				その他	0

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	件	1 件	件	1 件	件	件	件
	その他						

所属学系	人間学系	氏名	栗本 英世
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	8 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	0 件	3 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	8 名
	指導教員	6 名	1 名	留学生	8 名
	副指導教員	6 名	3 名	研究生	1 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	2 件	4 件	2 件	2 件	件	件	件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	日本的多文化共生の限界と可能性	栗本英世	201603	未来共生学 3 号
教科書	共生学が創る世界	河森正人、栗本英世、志水宏吉編	201603	大阪大学出版会
専門著書	武力紛争を越える(アフリカ潜在力 2)	遠藤貢編	201603	京都大学学術出版会

所属学系	人間学系	氏名	森田 敦郎
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	10 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	1 件
			副査	0 件	1 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	7 名
	指導教員	2 名	1 名	留学生	2 名
	副指導教員	8 名	3 名	研究生	1 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	1 件	6 件	3 件	件	件	件	件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	Concept Note: Infrastructure as Ontological Experiments.	Jensen, Casper B. and Atsuro Morita	201510	Engaging Science, Technology and Society. 1 巻 p81-87
学術論文	Introduction: Infrastructures as Ontological Experiments.	Jensen, Casper B. and Atsuro Morita	201601	Ethnos.
学術論文	Multispecies Infrastructure: Infrastructural Inversion and Involutionary Entanglement in the Chao Phraya Delta, Thailand.	Morita, Atsuro	201601	Ethnos.
学術論文	Infrastructuring the Amphibious Space: The Interplay of Aquatic and Terrestrial Infrastructures in the Chao Phraya Delta in Thailand.	Morita, Atsuro	201603	Science as Culture. 25 巻 1 号 p117-140
学術論文	人新世の時代における実験システム 人間と他の生物との関係の再考へ向けて	鈴木和歌奈、森田敦郎、リウ・ニューラン・クラウセ	201603	現代思想 2016年3月臨時増刊号：人類学のゆくえ
会議報告 /口頭発表	From Gravitational Machine to Universal Habitat: The Chao Phraya Drainage Basin between Infrastructure and Science.	Morita, Atsuro	201602	Research Seminar Department of Social Anthropology, Stockholm University.
会議報告 /口頭発表	From Gravitational Machine to Universal Habitat: The Chao Phraya Drainage Basin between Infrastructure and Science.	Morita, Atsuro	201603	Research Seminar in Social Anthropology, Department of Anthropology, University College of London.

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
専門著書	Infrastructure as Ontological Experiments. Ethnos.	Harvey, Penny, Casper B. Jensen and Atsuro Morita(eds.)	201601	Routledge
解説・総説	A Comment on the Keynote Speech by Marilyn Strathern.	Morita, Atsuro	201510	NatureCulture 3 巻 p152-154

所属学系	人間学系	氏名	白川 千尋
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	7 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	1 件	1 件
			副査	1 件	1 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	7 名
	指導教員	名	3 名	留学生	名
	副指導教員	名	2 名	研究生	名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	2 件	3 件	1 件	3 件	件	件	1 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	「感情と信頼関係－青年海外協力隊員の事例より」	白川千尋	201509	関根久雄編、『実践と感情－開発人類学の新展開』，春風社，pp.255-275
学術論文	「フィールドワークを開く－ヴァヌアツからの展望」	白川千尋	201603	白川千尋・石森大知・久保忠行編，『多配列思考の人類学－差異と類似を読み解く』，風響社，pp.315-333
一般著書	『メラネシアの伝統医療とむきあう－マラリア対策の現場から』	白川千尋	201505	臨川書店
専門著書	『多配列思考の人類学－差異と類似を読み解く』	白川千尋・石森大知・久保忠行編	201603	風響社
書評	「浜田明範著『薬剤と健康保険の人類学－ガーナ南部における生物医療をめぐる』」	白川千尋	201512	『文化人類学』 80 巻 3 号 p488-491
解説・総説	「国際協力と人類学」	白川千尋	201603	河森正人・栗本英世・志水宏吉編，『共生学が創る世界』，大阪大学出版会，pp.143-153
解説・総説	「名前と土地の深い関係」	白川千尋	201603	岩波書店辞典編集部編，『世界の名前』，岩波書店，pp.224-226

## 5-5. 教育学系

講座名等	教員氏名
臨床教育学	藤川 信夫
臨床教育学	岡部 美香
臨床教育学	西森 年寿
臨床教育学	三宮 真智子
臨床教育学	藤岡 淳子
臨床教育学	老松 克博
臨床教育学	井村 修
臨床教育学	佐々木 淳
臨床教育学	野村 晴夫
臨床教育学	野坂 祐子
臨床教育学	LI ZHE
臨床教育学	山口 洋介
臨床教育学	管生 聖子
臨床教育学	藤野 陽生
臨床教育学	チエルヴェンコヴァ ヴェリザラ
教育環境学	近藤 博之
教育環境学	中澤 渉
教育環境学	小野田 正利
教育環境学	園山 大祐
教育環境学	木村 涼子
教育環境学	志水 宏吉
教育環境学	高田 一宏
教育環境学	中村 瑛仁
教育環境学	寺町 晋哉
教育学系共通	知念 渉

所属学系	教育学系	氏名	藤川 信夫
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	22 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	1 件	3 件
			副査	0 件	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	1 名
	指導教員	6 名	6 名	留学生	3 名
	副指導教員	0 名	0 名	研究生	3 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	2 件	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件	2 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
教科書	体験型ワークで学ぶ教育相談	藤川信夫 (小野田正利・藤川信夫 監修, 大前玲子 編著)	201504	大阪大学出版会 担当頁:1-9
教科書	教育哲学の課題 「教育の知とは何か」	小笠原道雄、藤川信夫他	201506	福村出版 担当頁:221-237
教科書	共生学が創る世界	山本 ベバリーアン	201603	大阪出版
書評	自著紹介: 藤川信夫編著『育/福祉という舞台-動的ドラマトゥルギーの試み』	藤川信夫	201509	近代教育フォーラム 24 巻 p198-198
書評	図書紹介: 西平直『誕生のインファンティア-生まれてきた不思議、死んでゆく不思議、生まれてこなかった不思議-』	藤川信夫	201603	教育学研究 83 巻 1 号

所属学系	教育学系	氏名	岡部 美香
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	8 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	1 件	1 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	1 名
	指導教員	0 名	0 名	留学生	2 名
	副指導教員	6 名	5 名	研究生	2 名
				その他	修士生の博論指導 3名

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	1 件	1 件	1 件	1 件	0 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	人間と教育への問いとしての公害教育	岡部美香	201507	環境教育 25 巻 1 号 p60-69
会議報告 /口頭発表	〈外〉を形象らない思考へ	岡部美香	201510	教育哲学会第 58 回大会・研究討議
教科書	現代教育の争点・論点	松浦良充、岡部美香、 藤井佳世、松下良平、 山内紀幸ほか	201504	一藝社 担当頁:142-153、154-165

所属学系	教育学系	氏名	西森 年寿
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	30 科目	②学位論文審査		博士	修士
				主査	1 件
				副査	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	11 名
	指導教員	0 名	3 名	留学生	0 名
	副指導教員	17 名	6 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	2 件	2 件	0 件	2 件	0 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	中国人日本語学習者を対象とした文型・語彙の関係図の作成による日本語学習支援システム	李哲,孫帙,西森年寿,前迫孝憲	201510	教育システム情報学会誌 32 巻 4 号 p246-256
学術論文	中国人日本語学習者を対象とした文型・語彙の関係図の作成による日本語学習支援システム	李哲,孫帙,西森年寿,前迫孝憲	201510	教育システム情報学会誌 Vol.32, No.4, pp.246-256
学術論文	中日漢字の対応関係に基づいた中国語学習支援システム	李哲,前迫孝憲,西森年寿,孫帙	201603	教育メディア研究 22 巻 2 号 p33-44
学術論文	中日漢字の対応関係に基づいた中国語学習支援システム	李哲,前迫孝憲,西森年寿,孫帙	201603	教育メディア研究 22 巻 2 号 p33-44
会議報告 /口頭発表	多人数講義におけるアクティブ・ラーニングを支援するグループウェアの開発	加藤浩,西森年寿,八重樫文,望月俊男,奥林泰一郎,安藤拓生	201509	日本教育工学会第 31 回全国大会講演論文集 pp.843-844
会議報告 /口頭発表	学習者の特性が協同学習中の発言行動に与える影響の分析	中村雅子,西森年寿,前迫孝憲	201603	日本教育工学会研究報告集 JSET16-1, pp.43-46
専門著書	永田敬,林一雅編著『アクティブラーニングのデザイン』第 5 章「アクティブラーニングを支援する ICT ツール」	望月俊男,西森年寿	201602	東京大学出版会 担当頁:119-144
翻訳作品	ジョン・K・ギルバート,スーザン・ストックルマイヤー『現代の事例から学ぶサイエンスコミュニケーション』第 13 章「地球規模の気候変動を伝える」(訳)	ジョン・K・ギルバート,スーザン・ストックルマイヤー	201504	慶應義塾大学出版会 担当頁:212-226

所属学系	教育学系	氏名	三宮 真智子
------	------	----	--------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	19 科目	②学位論文審査	博士	修士
			主査	0 件
			副査	1 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	4 名
	指導教員	7 名	3 名	留学生	0 名
	副指導教員	4 名	2 名	研究生	2 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	0 件	2 件	1 件	12 件	0 件	5 件	0 件
その他	0						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	Does a dual-task selectively inhibit the metacognitive activities in text revision?	Machiko Sannomiya, Kazuhiro Ohtani	201504	Thinking Skills and Creativity Vol.17, pp.25-32
学術論文	判断の歪みを生む不適切なメタ認知的知識を問い直す	三宮真智子	201602	大阪大学大学院人間科学研究科紀要 第 42 卷
会議報告 /口頭発表	注意バイアス修正トレーニングアプリの開発と評価(2): ドロップアウト要因の検討	澤山郁夫, 上田紋佳, 三宮真智子	201507	日本認知心理学会第 13 回大会発表論文集 p97-
会議報告 /口頭発表	Web 上での学習者間相互交流の仕組みが e ラーニングに対する動機づけに与える効果 (IV)	澤山郁夫, 三宮真智子, 寺澤孝文	201508	日本教育心理学会第 57 回総会発表論文集 p145-
会議報告 /口頭発表	科学的探究能力に対する自己評価の正確さ—中学生を対象とした評価問題と質問紙の比較調査を通して—	久坂哲也, 三宮真智子	201508	日本教育心理学会第 57 回総会発表論文集 p290-290
会議報告 /口頭発表	科学的探究能力の評価問題の作成と検討	久坂哲也, 三宮真智子	201508	日本理科教育学会第 65 回全国大会論文集 p176-176
会議報告 /口頭発表	根拠産出トレーニングの効果に関する検討—呈示される例の質は産出に影響するか—	西森章子, 三宮真智子	201508	日本教育心理学会第 57 回総会発表論文集 p539-539
会議報告 /口頭発表	女子大学生間でのアドバイス場面における言葉かけによって喚起される反省感情	真下知子, 三宮真智子	201508	日本教育心理学会第 57 回総会発表論文集 p466-466
会議報告 /口頭発表	大学生における創造観とアイデア生成の関連性 (2) —思考の柔軟性の側面に着目して—	山口洋介, 三宮真智子	201508	日本教育心理学会第 57 回総会発表論文集 p386-386

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
会議報告 /口頭発表	大学生の科学的思考に対する認知:計量テキスト分析を用いた評価の試み	久坂哲也, 名越利幸, 八木一正, 三宮真智子	201508	日本科学教育学会第39回年会論文 集 p328-329
会議報告 /口頭発表	メタ認知的活動における量的指標と質的指標の関連	久坂哲也,大谷和大, 古本温久,亀岡正睦, 三宮真智子	201509	日本教育工学会第31回全国大会発表 論文集 p379-379
会議報告 /口頭発表	客観的指標による楽観バイアスと特性的自己効力感及び不安上昇量の関連	澤山郁夫,上田紋佳, 三宮真智子	201509	日本心理学会第79回大会発表論文 集 p674-
会議報告 /口頭発表	創造的因果推理トレーニングの効果(1) 発想数および発想カテゴリ数の変化	三宮真智子, 山口洋介	201509	日本心理学会第79回大会発表論文 集 p867-867
会議報告 /口頭発表	創造的因果推理トレーニングの効果(2) 事後アンケートに対する回答の分析	山口洋介, 三宮真智子	201509	日本心理学会第79回大会発表論文 集 p868-868
国際会議 (proc.なし)	The effect of TSUNAGARI learning system (TLS) on the learners with low efficacy expectations.	Sawayama,I., Sannomiya.M., Terasawa,T	201507	The 14th European Congress of Psychology (ECP2015) abstract book p2136-2136
解説・総説	ママのためのぶち心理学「会話で気持ちがすれ違うとき」	三宮真智子	201506	Happy-Note 夏号 Vol,43,139
解説・総説	教師と生徒のコミュニケーションを分析する	三宮真智子	201507	教育と医学 63巻 7号 p11-17
解説・総説	ママのためのぶち心理学「心のブレーキがきかなくなる前に」	三宮真智子	201509	Happy-Note 夏号 Vol.44,37
解説・総説	ママのためのぶち心理学「子どもに「なぜ?」と考える習慣をつけるには」	三宮真智子	201511	Happy-Note 冬号 Vol.45,103

所属学系	教育学系	氏名	藤岡 淳子
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	10 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	1 件	1 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	0 名
	指導教員	6 名	0 名	留学生	1 名
	副指導教員	1 名	4 名	研究生	1 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	2 件	2 件	件	件	件	件	1 件
	その他	翻訳 1 件					

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	性犯罪のアセスメントと教育的調整	藤岡淳子	201507	臨床心理学 15 巻 4 号
学術論文	刑務所における嗜癖問題への対応と今後の方向性について	藤岡淳子	201508	31 巻 1 号
専門著書	アディクションと加害者臨床	藤岡淳子	201601	金剛出版
翻訳作品	性加害行動のある少年少女のためのグッドライフ・モデル	ボビー・プリント編	201511	誠信書房
翻訳作品	犯罪被害を受けた子どものための支援ガイドー子どもと関わるすべての大人のために	野坂祐子,大岡由佳	201602	金剛出版

所属学系	教育学系	氏名	老松 克博
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	23 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	1 件	5 件
			副査	1 件	4 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	4 名
	指導教員	9 名	7 名	留学生	0 名
	副指導教員	0 名	4 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	3 件	1 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
その他	翻訳 1 件, 監修 (部分) 1 件						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
教科書	体験型ワークで学ぶ教育相談	藤川信夫 (小野田正利・藤川信夫 監修, 大前玲子 編著)	201504	大阪大学出版会
教科書	第 1 1 章アクティブ・イマジネーション, 小野けい子・佐藤仁美編著『改訂版 心理臨床とイメージ』, p.126-137	老松克博	201603	放送大学教育振興会
翻訳作品	「ペールをとったイシス 第 1 巻 科学 (下)」 (翻訳)	H. P. Bravatsky	201507	竜王文庫
その他	発達系の病跡学 (ブラヴァツキー著『ペールをとったイシス 第 1 巻・下』) 所収	老松克博	201507	竜王文庫
その他	就活でどうしても会いたいテレビ人 24 人への OB・OG 訪本	一般社団法人未来のテレビを考える会編著	201512	宣伝会議

所属学系	教育学系	氏名	井村 修
------	------	----	------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	28 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	2 件	3 件
			副査	2 件	件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	1 名
	指導教員	3 名	7 名	留学生	0 名
	副指導教員	8 名	2 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	1 件	2 件	1 件	1 件	0 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	How Physicians Support Mothers of Children with Duchenne Muscular Dystrophy	Fujino, H., Saito, T., Matsumura, T., Shibata, S., Iwata, Y., Fujimura, H., Shinno. S. & Imura, O.	201509	Journal of Child Neurology 30 巻 10 号 p1287-1294
会議報告 /口頭発表	DMD/BMDにおけるADHD傾向 評価法の予備的検討	新垣ほのか、榎本聖香、井村修、藤野陽生、松村剛、齋藤利雄、藤村晴俊	201505	能と発達 第47巻・学術集会号・S306
教科書	体験型ワークで学ぶ教育相談	藤川信夫(小野田正利・藤川信夫 監修、大前玲子 編著)	201504	大阪大学出版会
専門著書	Introduction to Dohsa-hou – An Integrated Japanese Body-Mind Therapy	Osamu Imura & Velizara Chervenkova (Ed.)	201603	Human Science Project, Graduate Schhol of Human Scieeces 担当頁:pp. 4-18, pp. 66-77

所属学系	教育学系	氏名	佐々木 淳
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	28 科目	②学位論文審査	博士	修士
			主査	2 件
			副査	9 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	3 名
	指導教員	8 名	5 名	留学生	名
	副指導教員	1 名	5 名	研究生	名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	13 件	2 件	0 件	5 件	0 件	4 件	0 件
その他							

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	短期間のマインドフルネスのエクササイズが吃音者の発話およびコミュニケーションに与える影響	灰谷知純・佐々木淳・熊野宏昭	201504	コミュニケーション障害学 32 巻 1 号 p20-26
学術論文	神経性過食症患者に対する自尊感情向上のための集団療法の量的評価	竹田剛・佐々木淳	201602	大阪大学大学院人間科学研究科紀要 42 巻 p273-290
会議報告 /口頭発表	マルチメソッド・アプローチに触れて考えたこと：臨床心理学の立場から。日本パーソナリティ心理学会広報委員会(企画)。心理学におけるマルチメソッド・アプローチ	佐々木淳	201508	
会議報告 /口頭発表	糸通しによるマインドフルネス・エクササイズが時間切迫場面における運動パフォーマンスに及ぼす効果	壺内悠伊・武藤崇・佐々木淳	201509	日本心理学会第 79 回大会発表論文集
会議報告 /口頭発表	透析患者の心理的ケア受療行動に関する要因の検討：精神科医・臨床心理士によるケア経験者と非経験者の比較	中村菜々子・平井啓・佐々木淳	201509	日本心理学会第 79 回大会発表論文集
会議報告 /口頭発表	年期における「キャラ」の形成と自己の在り方をめぐる葛藤過程——過剰適応と自己複雑性の観点から	小川将司・佐々木淳	201509	日本心理臨床学会第 34 回秋季大会発表論文集
会議報告 /口頭発表	痛みに対する破局的思考の思考内容と思考様式が慢性痛アウトカムに及ぼす影響： Pain Catastrophizing Scale における 2 因子モデルの妥当性の検討	安達友紀・中江文・佐々木淳	201510	日本認知・行動療法学会第 41 回大会発表論文集

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
教科書	うつの理解と支援. 丹野義彦・石垣琢磨・毛利伊吹・佐々木淳・杉山明子 (編). 臨床心理学 (New Liberal Arts Selection シリーズ)	佐々木淳	201504	有斐閣
教科書	コラム8:日本で行われてきた対人恐怖症研究の発展性. 丹野義彦・石垣琢磨・毛利伊吹・佐々木淳・杉山明子 (編). 臨床心理学 (New Liberal Arts Selection シリーズ)	佐々木淳	201504	有斐閣 担当頁:454-455
教科書	パニック症の理解と支援. 丹野義彦・石垣琢磨・毛利伊吹・佐々木淳・杉山明子 (編). 臨床心理学 (New Liberal Arts Selection シリーズ)	佐々木淳	201504	有斐閣 担当頁:467-479
教科書	学習理論パラダイム:行動療法. 丹野義彦・石垣琢磨・毛利伊吹・佐々木淳・杉山明子 (編). 臨床心理学 (New Liberal Arts Selection シリーズ)	佐々木淳	201504	有斐閣 担当頁:237-254
教科書	強迫症の理解と支援. 丹野義彦・石垣琢磨・毛利伊吹・佐々木淳・杉山明子 (編). 臨床心理学 (New Liberal Arts Selection シリーズ)	佐々木淳	201504	有斐閣 担当頁:481-493
教科書	社交不安症の理解と支援. 丹野義彦・石垣琢磨・毛利伊吹・佐々木淳・杉山明子 (編). 臨床心理学 (New Liberal Arts Selection シリーズ)	佐々木淳	201504	有斐閣 担当頁:449-465
教科書	心的外傷後ストレス障害の理解と支援. 丹野義彦・石垣琢磨・毛利伊吹・佐々木淳・杉山明子 (編). 臨床心理学 (New Liberal Arts Selection シリーズ)	佐々木淳	201504	有斐閣 担当頁:495-509
教科書	体験型ワークで学ぶ教育相談	藤川信夫 (小野田正利・藤川信夫 監修, 大前玲子 編著)	201504	大阪大学出版会
教科書	対人不安. 森脇愛子・坂本真士 (編), 対人的かかわりからみた心の健康	佐々木淳	201504	北樹出版 担当頁:48-61
教科書	臨床心理学研究法. 丹野義彦・石垣琢磨・毛利伊吹・佐々木淳・杉山明子 (編). 臨床心理学 (New Liberal Arts Selection シリーズ)	佐々木淳	201504	有斐閣 担当頁:335-357
教科書	躁の理解と支援. 丹野義彦・石垣琢磨・毛利伊吹・佐々木淳・杉山明子 (編). 臨床心理学 (New Liberal Arts Selection シリーズ)	佐々木淳	201504	有斐閣 担当頁:435-447
専門著書	Appraisals and Control Strategies for Intrusive Thoughts of Failure, Dirt, and Aggression. A. M. Columbus (Ed.), Advances in Psychology Research, Vol. 102	Sugiura, Y., Sasaki, J., Sugiura, T., Ito, A., & Tanno, Y.	201507	Nove Science Publishers 担当頁:103-116
翻訳作品	双極性障害のための認知行動療法ポケットガイド	佐々木淳	201603	金剛出版

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
解説・総説	現象としての社交不安（第1回）：臨床心理学入門としての社交不安	佐々木淳	201511	
解説・総説	現象としての社交不安（第2回）：これって正常？異常？—現象の機能を考える	佐々木淳	201512	
解説・総説	現象としての社交不安（第3回）：対人恐怖症は日本文化に固有の現象なのか	佐々木淳	201601	
解説・総説	現象としての社交不安（最終回）：現象が現象であるために—病理を超えて	佐々木淳	201603	

所属学系	教育学系	氏名	野村 晴夫
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	21 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	件	2 件
		副査	1 件	7 件	

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	5 名
	指導教員	2 名	5 名	留学生	名
	副指導教員	4 名	11 名	研究生	名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	1 件	1 件	2 件	3 件	件	件	件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	クライアント・ナラティブと心理療法の多元性	野村晴夫	201602	大阪大学大学院人間科学研究科紀要 42 巻 p257-272
教科書	体験型ワークで学ぶ教育相談	藤川信夫 (小野田正利・藤川信夫 監修, 大前玲子 編著)	201504	大阪大学出版会

○受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
201509	野村晴夫	日本心理臨床学会奨励賞	日本心理臨床学会

所属学系	教育学系	氏名	野坂 祐子
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	14 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	1 件
			副査	0 件	1 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	8 名
	指導教員	0 名	4 名	留学生	2 名
	副指導教員	6 名	0 名	研究生	1 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	1 件	3 件	件	件	件	件	3 件
	その他	翻訳 4 件					

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	子どもの性的発達と性問題行動 ー被害・加害の連続性とグッドライフ・アプローチ	野坂祐子	201504	子ども学 3号 p55-72
学術論文	生徒間における性暴力～性的いじめ、デートレイプ、リベンジポルノ～	野坂祐子	201511	指導と評価 p24-26
学術論文	もし、自殺が起こったら～学校における危機対応と支援のあり方～	野坂 祐子	201602	学校保健研究 57 巻 6号 p300-303
専門著書	アディクションと加害者臨床	野坂祐子	201601	金剛出版 担当頁:50-64
翻訳作品	あなたに伝えたいことー性的虐待・性被害からの回復のために	シンシア・L・メイザー	201504	誠信書房
翻訳作品	子どものためのトラウマフォーカスト認知行動療法:さまざまな臨床現場における TF-CBT 実践ガイド	野坂祐子	201510	岩崎学術出版社
翻訳作品	性加害行動のある少年少女のためのグッドライフ・モデル	ボビー・プリント編	201511	誠信書房
翻訳作品	犯罪被害を受けた子どものための支援ガイドー子どもと関わるすべての大人のために	野坂祐子,大岡由佳	201602	金剛出版
書評	「快」からはじまる成長と自立	野坂祐子	201505	現代性教育研究ジャーナル 54号 p10-10
書評	現代版! ? 「私のからだは、私のもの」	野坂 祐子	201509	54号 p12-12

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
書評	つながる、群れる、生き延びる～ ひとりで生きない性教育のあり 方～	野坂 祐子	201601	58号 p10-10

所属学系	教育学系	氏名	李 哲
------	------	----	-----

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	件	件
			副査	件	件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	名
	指導教員	名	名	留学生	名
	副指導教員	名	名	研究生	名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	件	5 件	件	件	件	件	件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	日本中小学情報教育的発展歷程 和前哨動態	孫帙,李哲,前迫孝憲, 張海	201504	中国信息技術教育 209 卷 7 号 p15-17
学術論文	日本個性化学習環境実証項目 “ICT 夢想学校”概述及啓示	趙思邈,李哲,前迫孝 憲,張海	201509	中国信息技術教育 221 卷 18 号 p93-96
学術論文	中国人日本語学習者を対象とし た文型・語彙の関係図の作成によ る日本語学習支援システム	李哲,孫帙,西森年寿, 前迫孝憲	201510	教育システム情報学会誌 32 卷 4 号 p246-256
学術論文	日本大学教師教育 (FD) 進展及 其信息化動向	楊絮,張海,李哲	201511	中国信息技術教育 224 卷 22 号 p80-83
学術論文	菲律宾遠程教育新探索——電視 空白頻段的応用与实践	Marife Duldulao Carpio,李哲,孫帙,趙 思邈,張海	201512	中国信息技術教育 226 卷 24 号 p88-91
学術論文	日本の外国語教育における ICT 活用の研究動向	李哲	201602	大阪大学大学院人間科学研究科紀 要 42 卷 p329-341
学術論文	A Literature Review of Research on Knowledge Building Approach to Education	SUN Zhi,LI Zhe,ZAORSKI Spence,CARPIO Marife	201603	大阪大学教育学年報 21 卷
学術論文	中日漢字の対応関係に基づいた 中国語学習支援システム	李哲,前迫孝憲,西森 年寿,孫帙	201603	教育メディア研究 22 卷 2 号 p33-44

○受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
201511	李哲	中国留日同学会賞 (論文賞)	中国留日同学会

所属学系	教育学系	氏名	山口 洋介
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	2 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	件	件
			副査	件	件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	名
	指導教員	名	名	留学生	名
	副指導教員	名	名	研究生	名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	件	1 件	件	4 件	件	件	件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
会議報告 /口頭発表	大学生における創造観とアイデア生成の関連性(2)ー思考の柔軟性の側面に着目してー	山口洋介, 三宮真智子	201508	日本教育心理学会第57回総会発表論文集 p386-386
会議報告 /口頭発表	創造的因果推理トレーニングの効果(1) 発想数および発想カテゴリ数の変化	三宮真智子, 山口洋介	201509	日本心理学会第79回大会発表論文集 p867-867
会議報告 /口頭発表	創造的因果推理トレーニングの効果(2) 事後アンケートに対する回答の分析	山口洋介, 三宮真智子	201509	日本心理学会第79回大会発表論文集 p868-868

所属学系	教育学系	氏名	管生 聖子
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	6 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	0 件	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	0 名
	指導教員	0 名	0 名	留学生	0 名
	副指導教員	0 名	0 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	1 件	0 件	0 件	1 件	2 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
教科書	体験型ワークで学ぶ教育相談	藤川信夫 (小野田正利・藤川信夫 監修, 大前玲子 編著)	201504	大阪大学出版会
大学・研究所等の報告	周産期の親を支えるドゥーラの役割—臨床心理学的視点から	管生聖子	201603	大阪大学教育学年報 21 巻

所属学系	教育学系	氏名	藤野 陽生
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	3: 科目	②学位論文審査	博士	修士	
			主査	件	件
			副査	件	件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	名
	指導教員	名	名	留学生	名
	副指導教員	名	名	研究生	名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	1 件	6 件	2 件	13 件	件	1 件	件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	Glutamate Networks Implicate Cognitive Impairments in Schizophrenia: Genome-Wide Association Studies of 52 Cognitive Phenotypes.	Ohi K, Hashimoto R, Ikeda M, Yamamori H, Yasuda Y, Fujimoto M, Umeda-Yano S, Fukunaga M, Fujino H, Watanabe Y, Iwase M, Kazui H, Iwata N, Weinberger DR, Takeda M	201507	Schizophrenia bulletin 41 巻 4 号 p909-18
学術論文	How physicians support mothers of children with Duchenne muscular dystrophy	Fujino H, Saito T, Matsumura T, Shibata S, Iwata Y, Fujimura H, Shinno S, Imura O	201509	Journal of Child Neurology 30 巻 10 号 p1287-1294
学術論文	Postural sway and clinical characteristics in patients with psychotic disorders: A review	Fujino H, Imura O	201512	Psychiatric Quarterly 86(4):603-614
学術論文	Predicting employment status and subjective quality of life in patients with schizophrenia.	Fujino H, Sumiyoshi C., Sumiyoshi T, Yasuda Y, Yamamori H, Ohi K, Fujimoto M, Hashimoto R, Takeda M, Imura O	201603	Schizophrenia Research: Cognition 3 巻 1 号
会議報告 /口頭発表	統合失調の皮質下体積と認知機能の相関解析	越山太輔, 福永雅喜, 岡田直大, 山下典生, 山森英長, 安田由華, 藤本美智子, 大井一高, 藤野陽生, 笠井清登, 橋本亮太	201509	第 45 回日本神経精神薬理学会・第 37 回日本生物学的精神医学会 合同年会, 東京

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
会議報告 /口頭発表	筋強直性ジストロフィー患者の 社会生活困難と認知機能の関連 についての検討	藤野陽生, 新垣ほの か, 榎本聖香, 大野真 紀子, 松村 剛, 齊藤 利雄, 藤村晴俊, 井村 修	201510	第2回筋ジストロフィー医療研究 会, 大阪
会議報告 /口頭発表	筋強直性ジストロフィー患者に おける認知機能と QoL の関連の 探索的検討	藤野陽生, 新垣ほの か, 榎本聖香, 長山卓 弘, 宮本真衣, 齊藤利 雄, 藤村晴俊, 高橋正 紀, 田路智子, 加藤亜 希子, 松原梨絵子, 和 田千鶴, 諏訪園秀吾, 奥間めぐみ, 上田幸 彦, 松村 剛, 井村 修	201601	第2回筋ジストロフィーの CNS 障 害研究会, 東京
会議報告 /口頭発表	筋強直性ジストロフィー患者に おける注意機能, 視空間認知機能 の特徴	上田幸彦, 諏訪園秀 吾, 奥間めぐみ, 松村 剛, 齊藤利雄, 藤村晴 俊, 井村 修, 藤野陽 生, 新垣ほのか, 榎本 聖香, 長山卓弘, 宮本 真衣, 高橋正紀, 田路 智子, 加藤亜希子, 松 原梨絵子, 和田千鶴.	201601	第2回筋ジストロフィーの CNS 障 害研究会, 東京
会議報告 /口頭発表	DMD/BMD における ADHD 傾向 評価法の予備的検討	新垣ほのか, 榎本聖 香, 井村 修, 藤野陽 生, 松村 剛, 齊藤利 雄, 藤村晴俊	201505	第57回日本小児神経学会学術集 会, 大阪
会議報告 /口頭発表	Characteristics of autistic behavior in patients with dystrophinopathies.	Fujino H, Saito T, Matsumura T, Shibata S, Iwata Y, Fujimura H, Imura O.	201505	第57回日本小児神経学会学術集 会, 大阪
会議報告 /口頭発表	Predicting social functioning and subjective quality of life in patients with schizophrenia.	Fujino H, Sumiyoshi C, Sumiyoshi T, Yasuda Y, Yamamori H, Ohi K, Fujimoto M, Hashimoto R, Takeda M, Imura O.	201506	WPA Regional Congress 2015, Osaka
会議報告 /口頭発表	Social functioning predicts subjective quality of life in patients with schizophrenia	Fujino H, Sumiyoshi C, Sumiyoshi T, Yasuda Y, Yamamori H, Ohi K, Fujimoto M, Hashimoto R, Takeda M, Imura O.	201507	第38回日本神経科学大会, 兵庫
会議報告 /口頭発表	A screening method for functional analysis of autism-associated genes	Matsumura K, Hashimoto R, Nakazawa T, Tsurusaki Y, Yasuda Y, Nagayasu K, Kawashima H, Yamamori H, Fujimoto M, Ohi K, Umeda-Yano S, Fukunaga M, Fujino H, Kasai A, Hayata-Takano A, Shintani N, Takeda M, Matsumoto N, Hashimoto H.	201507	第38回日本神経科学大会, 兵庫

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
会議報告 /口頭発表	Glutamate networks implicate cognitive impairments in schizophrenia: genome-wide association studies of 52 cognitive phenotypes.	Hashimoto R , Ohi K, Ikeda M, Yamamori H, Yasuda Y, Fujimoto M, Umeda-Yano S, Fukunaga M, Fujino H, Watanabe Y, Iwase M, Kazui H, Iwata N, Weinberger DR, Takeda M.	201507	第 38 回日本神経科学大会, 兵庫
会議報告 /口頭発表	Brief versions of the Wechsler Intelligence Scale for schizophrenia: Relation to functional outcome.	Sumiyoshi C, Fujino H, Sumiyoshi T, Yasuda Y, Yamamori H, Ohi K, Fujimoto M, Hashimoto R, Takeda M.	201507	第 38 回日本神経科学大会, 兵庫
会議報告 /口頭発表	動作法が身体意識に与える影響の検討.	藤野陽生	201509	日本心理学会第 79 回大会, 愛知
会議報告 /口頭発表	統合失調症患者と健常者の意味記憶構造の比較: カテゴリ流暢性課題に基づく推定.	住吉チカ, 藤野陽生, 住吉太幹, 橋本亮太	201509	日本心理学会第 79 回大会, 愛知
教科書	体験型ワークで学ぶ教育相談	藤川信夫 (小野田正利・藤川信夫 監修, 大前玲子 編著)	201504	大阪大学出版会

所属学系	教育学系	氏名	チェルヴェンコヴァ ヴェリザラ
------	------	----	-----------------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	件	件
			副査	件	件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	名
	指導教員	名	名	留学生	名
	副指導教員	名	名	研究生	名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	3 件	なし 件	なし 件	なし 件	なし 件	なし 件	なし 件
その他	なし						

所属学系	教育学系	氏名	近藤 博之
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	7 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	2 件	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	2 名
	指導教員	0 名	0 名	留学生	0 名
	副指導教員	0 名	0 名	研究生	0 名
				その他	

(2)平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	0 件	0 件	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件
	その他						

所属学系	教育学系	氏名	中澤 渉
------	------	----	------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	20 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	0 件	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	1 名
	指導教員	0 名	0 名	留学生	0 名
	副指導教員	0 名	0 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	3 件	2 件	1 件	0 件	0 件	1 件	3 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	日本的影子教育 (中国語・日本における「影の教育」: 後期中等教育段階の塾・予備校に注目して)	中澤 渉	201507	北京大学教育評論 13 巻 3 号 p17-28
学術論文	日本の公教育費が抱える問題	中澤渉	201512	貧困研究 15 号 p57-70
会議報告 /口頭発表	Decreasing Population, Educational Expansion, and Inequality of Opportunity: Japan as a Low-Fertility Society	Wataru NAKAZAWA	201508	International Sociological Association, Research Committee 28, 2015 Summer Meeting at University of Pennsylvania
専門著書	格差社会の中の高校生: 家族・学校・進路選択	中澤渉・藤原翔	201509	勁草書房
教科書	計量社会学入門 — 社会をデータでよむ	数理社会学会 (監修), 筒井淳也, 神林博史, 長松奈美江, 渡邊大輔, 藤原翔 編	201512	世界思想社 担当頁:76-87
書評	末富芳氏の『なぜ日本の公教育費は少ないのか—教育の公的役割を問いなおす』の書評に答えて	中澤渉	201505	教育社会学研究 96 巻 p385-386
書評	書評 本田由紀著『もじれる社会—戦後日本型循環モデルを超えて』	中澤渉	201511	教育社会学研究 97 巻 p169-171
書評	豊かなアメリカのパラドクス	中澤 渉	201511	アステイオン 83 号 p233-237
解説・総説	通塾は進学に有効だったのか—教育の「効果」を考える	中澤渉	201602	SYNODOS
解説・総説	ESSM2013 職業コーディング作業記録	中澤渉・小川和孝	201603	『全国無作為抽出調査による「教育体験と社会階層の関連性」に関する実証的研究」(科学研究費補助金基盤研究 A 研究成果報告書 (別冊)・コードブック・基礎集計表 p127-155

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
その他	教育費について我々は何を考えるべきか	中澤 渉	201505	中央公論 129 巻 6 号 p42-49
その他	「パネル・データを利用した個人内変動のパターンの抽出」 石田浩編『現代日本における若年層のライフコース変容と格差の連鎖・蓄積に関する総合的研究』報告書	中澤 渉	201506	東京大学社会科学研究所 担当頁:498-512

○受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
201507	中澤渉	大阪大学総長奨励賞（研究部門）	大阪大学

所属学系	教育学系	氏名	小野田 正利
------	------	----	--------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	19 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	1 件	0 件
			副査	0 件	2 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	1 名
	指導教員	2 名	1 名	留学生	0 名
	副指導教員	2 名	5 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	2 件	66 件	0 件	1 件	0 件	3 件	1 件
その他	シンポジウム報告 2 件、学術雑誌での対談・座談会 4 件、講演集録 1 件						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	「エコロジカル・マップ」の作成によって保護者対応トラブルの快活策を探るワークショップ実践	小野田正利	201506	日本教育経営学会紀要 57 巻 p126-135
教科書	体験型ワークで学ぶ教育相談	藤川信夫 (小野田正利・藤川信夫 監修, 大前玲子 編著)	201504	大阪大学出版会
一般著書	それでも親はモンスターじゃない～保護者との向き合い方は新たなステージへ	小野田正利	201508	学事出版 担当頁:全 215 頁
一般著書	先生の叫び 学校の悲鳴	小野田正利	201512	エイデル研究所 担当頁:全 253 頁
その他	教育小六法 2016 (平成 28 年版)	市川須美子, 小野田正利, 勝野正章, 窪田眞二, 中嶋哲彦, 成嶋隆	201601	学陽書房

所属学系	教育学系	氏名	園山 大祐
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	6 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	2 件	2 件
			副査	3 件	2 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	3 名
	指導教員	0 名	4 名	留学生	名
	副指導教員	4 名	1 名	研究生	2 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	2 件	2 件	件	件	件	件	1 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	EU 主要国における外国人の子どもの教育に関する施策と課題	柿内真紀、園山大祐	201508	比較教育学研究 51 号 p37-49
学術論文	優先教育政策を通じた学力格差との闘い	園山大祐	201509	フランス教育学会紀要 27 号 p19-30
専門著書	学力格差是正策の国際比較	志水宏吉、山田哲也	201504	岩波書店 担当頁:121-147
専門著書	排外主義を問いなおす	園山大祐	201505	勁草書房 担当頁:127-150

所属学系	教育学系	氏名	木村 涼子
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	18 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	2 件	5 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	5 名
	指導教員	2 名	4 名	留学生	1 名
	副指導教員	0 名	0 名	研究生	2 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	4 件	3 件	0 件	0 件	0 件	1 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	<女が読む小説>を書くということ-文壇のジェンダー・ポリテイクスと忘れられた「通俗小説」作家・加藤武雄	木村涼子	201602	大阪大学人間科学研究紀要 42 巻 p343-368
学術論文	農民文学と<女が読む小説>「通俗小説」のはざままで:加藤武雄の文学論と「義民」小説	木村涼子	201603	大阪大学教育学年報 21 巻 p67-88
教科書	改訂版 ジェンダー・スタディーズ 女性学・男性学を学ぶ	牟田和恵編	201504	大阪大学出版会

所属学系	教育学系	氏名	志水 宏吉
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	8 目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	3 件	5 件
			副査	0 件	3 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	0 名
	指導教員	12 名	14 名	留学生	2 名
	副指導教員	3 名	3 名	研究生	0 名
				その他	長期研修生 2 名

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	1 件	1 件	0 件	0 件	3 件	5 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
教科書	共生学が創る世界	山本 ベバリーアン	201603	大阪出版

所属学系	教育学系	氏名	高田 一宏
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	10 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	件	件
			副査	3 件	6 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	2 名
	指導教員	名	1 名	留学生	名
	副指導教員	12 名	14 名	研究生	名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	1 件	2 件	件	1 件	件	1 件	1 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
専門著書	志水宏吉・山田哲也編著『学力格差是正策の国際比較』第 6 章『日本・「確かな学力」向上政策の実相』	高田一宏・鈴木勇	201504	岩波書店

所属学系	教育学系	氏名	中村 瑛仁
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	3 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	件	件
			副査	件	件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	名
	指導教員	名	名	留学生	名
	副指導教員	名	名	研究生	名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	件	1 件	件	2 件	件	件	件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	教員集団内における教職アイデンティティ確保戦略-アイデンティティ・ワークの視点から	中村瑛仁	201505	教育社会学会研究 96 号
学術論文	教員世界における格差-職場における承認感に着目して	中村瑛仁	201603	大阪大学教育学年報 21 号 p133-144

所属学系	教育学系	氏名	寺町 晋哉
------	------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	0 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	0 件	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	0 名
	指導教員	0 名	0 名	留学生	0 名
	副指導教員	0 名	0 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	件	2 件	件	件	件	件	件
	その他						

所属学系	教育学系	氏名	知念 渉
------	------	----	------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	6 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	0 件	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	0 名
	指導教員	0 名	0 名	留学生	0 名
	副指導教員	0 名	0 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	1 件	1 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	文化的再生産をめぐる経験的研究の展開	大前 敦巳, 石黒 万里子, 知念 渉	201511	教育社会学研究 97 巻 p125-164
その他	どんな高校生が大学、社会で成長するのかー「学校と社会をつなぐ調査」からわかった伸びる高校生のタイプ	溝上慎一編	201507	学事出版

## 5-6. グローバル人間学系

講座名等	教員氏名
人間開発学	中村 安秀
人間開発学	澤村 信英
人間開発学	岡田 千あき
人間開発学	千葉 泉
人間開発学	藤目 ゆき
人間開発学	小林 清治
人間開発学	三好 恵真子
地域研究	河森 正人
地域研究	鈴木 広和
地域研究	大谷 順子
地域研究	Zgusta Richard
地域研究	福岡 まどか
グローバル人間学系共通	モハーチ・ゲルゲイ

所属学系	グローバル人間学系	氏名	中村 安秀
------	-----------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	24 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	2 件	4 件
		副査	1 件	7 件	

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	1 名
	指導教員	9 名	5 名	留学生	6 名
	副指導教員	5 名	8 名	研究生	2 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	1 件	4 件	6 件	9 件	0 件	2 件	1 件
その他	第 9 回母子手帳国際会議 (カメルーン共和国) 主催						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	大学病院における言語や文化の異なる患者・家族対応の現状と課題～病院職員を対象とした質問紙調査より～	小笠原理恵, 中村安秀, 小笠原祐希子, 史賢林, 大川敦子, 南谷かおり, 中田研, 澤芳樹	201506	8 巻 1 号 p26-30
学術論文	岩手県陸前高田市未来図会議が果たしてきた役割～災害対応計画へのモデルとして～	西原三佳, 大西真由美, 中村安秀	201602	日本公衆衛生雑誌 63(2); 55-67
専門著書	医療通訳とは, 医療通訳と保健医療福祉 (李節子編集)	中村安秀	201508	杏林書院 担当頁:1-17
解説・総説	小児のための国際保健医療協力	中村安秀	201504	小児科診療 11 巻 p21-24
解説・総説	東日本大震災での経験をもとに検討した日本小児科学会の行うべき大災害の支援計画の総括	井田孔明、清水 直樹、奥山眞紀子、呉 繁夫、田中総一朗、田中英高、田村正徳、千田勝一、中村安秀、淵向透、桃井伸緒、細矢光亮、玉井 浩.	201507	日本小児科学会雑誌 119(7) : 1159-1178

所属学系	グローバル人間学系	氏名	澤村 信英
------	-----------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	16 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	1 件	4 件
		副査	2 件	3 件	

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	1 名
	指導教員	2 名	5 名	留学生	2 名
	副指導教員	2 名	5 名	研究生	1 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	3 件	2 件	2 件	7 件	0 件	2 件	1 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	トルコにおけるシリア難民による学校運営—教職員の視点からみた学校の役割—	山本香、澤村信英	201506	国際開発研究 24 巻 1 号 p71-86
学術論文	ケニア・ナイロビのスラムにおける無認可私立校の運営実態—自立的な学校経営を支える関係者の連帯—	澤村信英	201512	アフリカ教育研究 6 号 p70-84
会議報告 /口頭発表	ケニアの初等・中等学校における学習改善実践—教育段階による違いに着目して—	澤村信英	201504	第 15 回アフリカ教育研究フォーラム (広島大学)
会議報告 /口頭発表	ケニア共和国キベラ・スラムにおける教育施設の運営実態—ノンフォーマル学校の事例を中心として—	澤村信英、山本香	201505	日本アフリカ学会第 52 回学術大会 (犬山国際観光センター)
会議報告 /口頭発表	ケニア共和国キベラ・スラムに暮らす子どもの就学—公教育を支える無認可学校の実態—	澤村信英、山本香	201506	日本比較教育学会第 51 回大会 (宇都宮大学)
会議報告 /口頭発表	都市難民による自主的 school 運営の諸相—トルコのシリア人とイランのアフガニスタン人の事例—	山本香、朝隈芽生、澤村信英	201506	平成 27 年度国際教育研究フォーラム夏季例会 (京都女子大学)
会議報告 /口頭発表	ケニア・ナイロビにおける無認可私立校の役割—スラムの生活者がつくる教育機会—	澤村信英、山本香	201510	第 16 回アフリカ教育研究フォーラム (東京大学)
会議報告 /口頭発表	ケニア・ナイロビのスラムにおける無認可私立校の役割—自立的な学校経営を支える関係者の連帯—	澤村信英、山本香、川口純	201511	国際開発学会第 26 回全国大会 (新潟大学)
会議報告 /口頭発表	アフリカの生活と学校—教育は投資か消費か?	澤村信英	201601	第 216 回アフリカ地域研究会 (京都大学アフリカ地域研究資料センター)

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
国際会議 (proc.あり)	The Impact of Primary School Experience on the Lives of Maasai Women in Kenya	Nobuhide SAWAMURA	201506	International Council on Education for Teaching (ICET), 59th World Assembly, Naruto University of Education
国際会議 (proc.なし)	Roles of Unrecognized Private Schools in Nairobi, Kenya: Collaboration among slum inhabitants to ensure their own educational opportunities	Nobuhide Sawamura and Kaoru Yamamoto	201603	Comparative and International Education Society 60th Conference
専門著書	Comparative Analysis on Universal Primary Education Policy and Practice in Sub-Saharan Africa: The Cases of Ghana, Kenya, Malawi and Uganda (UPE Policy Assessment in Kenya)	Daniel Sifuna, N. and Nobuhide Sawamura	201506	Sense Publishers 担当頁:35-52
教科書	共生学が創る世界 (第12章 発展途上国の教育開発、国際協力、住民自立)	澤村信英	201603	大阪大学出版会 担当頁:263-273
教科書	新版 国際協力学を学ぶ人のために (第8章 教育開発の課題と展望)	澤村信英	201603	世界思想社 担当頁:177-193
その他	つながりあい、他者を支えるーナイロビのスラムに息づく共生の基本	澤村信英	201603	未来共生学 3号 p456-461

所属学系	グローバル人間学系	氏名	岡田 千あき
------	-----------	----	--------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	14 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	0 件	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	2 名
	指導教員	0 名	2 名	留学生	0 名
	副指導教員	0 名	1 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	0 件	2 件	1 件	1 件	1 件	2 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	貧困とスポーツーホームレスワールドカップが発信する物語ー	岡田千あき	201602	大阪大学人間科学研究科紀要 42 巻 p141-161
会議報告 /口頭発表	社会貢献を目的としたスポーツイベントの形態に関する研究	岡田千あき	201506	日本運動・スポーツ科学学会第 22 回大会
解説・総説	スポーツを通じた開発の概念と周辺領域	岡田千あき	201505	生産と技術 67 巻 2 号 p85-87

所属学系	グローバル人間学系	氏名	千葉 泉
------	-----------	----	------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	15 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	4 件	3 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	1 名
	指導教員	3 名	4 名	留学生	2 名
	副指導教員	3 名	4 名	研究生	2 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	件	1 件	件	件	件	件	件
その他	共生をテーマとする自作曲（日本語、スペイン語、中国語）を収録した CD 1 枚を発表した。						

所属学系	グローバル人間学系	氏名	藤目 ゆき
------	-----------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	14 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	1 件	0 件
			副査	0 件	1 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	2 名
	指導教員	2 名	2 名	留学生	10 名
	副指導教員	1 名	2 名	研究生	8 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	1 件	1 件	0 件	0 件	0 件	1 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	カンデラリア・ロドリゲス・ヘルナンデス：朝鮮民主主義人民共和国を三度訪れたキューバ人女性	藤目ゆき	201507	アジア現代女性史 10号 p90-106
教科書	共生学が創る世界	山本 ベバリーアン	201603	大阪出版

所属学系	グローバル人間学系	氏名	小林 清治
------	-----------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	18 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	1 件
			副査	2 件	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	1 名
	指導教員	0 名	1 名	留学生	0 名
	副指導教員	6 名	4 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	件	件	件	件	件	件	件
	その他						

所属学系	グローバル人間学系	氏名	三好 恵真子
------	-----------	----	--------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	18 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	2 件	0 件
		副査	0 件	1 件	

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	3 名
	指導教員	6 名	4 名	留学生	4 名
	副指導教員	1 名	1 名	研究生	1 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	2 件	7 件	3 件	4 件	0 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	关于渔业资源管理模式的讨论—以舟山市为例	胡 毓瑜, 三好恵真子	201509	大阪大学中国文化フォーラム・ディスカッションペーパー No.2015-11
学術論文	水平ブレード式高速カッティングミルによる一次破碎後の使用済携帯電話碎片の乾式粉碎過程に関する実験的検討	姉崎正治, 山本高郁, 三好恵真子	201511	廃棄物資源循環学会論文誌 in press
学術論文	水平ブレード式高速カッティングミルによる使用済携帯電話の粉碎と貴金属成分の濃集現象	姉崎正治, 山本高郁, 三好恵真子	201511	廃棄物資源循環学会論文誌 in press
学術論文	脉搏波的非线性分析与音乐刺激下各指标的变化	胡毓瑜, 林娟, 雄山真弓, 三好恵真子	201601	心理学报 in press
学術論文	Proactive mining system in Potosi silver mines —New information from re-evaluation of historical materials regarding the fifth Viceroy Toledo's various policies on environment—	Anezaki, S., Miyoshi, E.	201603	Osaka Human Sciences Vol.2, in press
学術論文	ラスキンにおける美の観念とプラグマティズム—パース現象学から見る色彩と形態の相関性—	橘高彫斗, 三好恵真子	201603	大阪大学人間科学紀要 第 42 号, 371-386
会議報告/口頭発表	ゴラン高原ドルーズ派コミュニティの生活空間とゆらぎ—境界に生きる人々—	川口奈穂, 三好恵真子	201505	日本生活学会 第 42 回大会

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
会議報告 /口頭発表	舟山群島新区海域における漁業資源の現状と海洋生態の保護・修復への展望—現行制度・生態状況に対する漁民の認識と漁民の生計に関する分析	胡毓瑜, 三好恵真子	201505	日本生活学会 第42回大会
会議報告 /口頭発表	水銀条約における小規模金採掘を巡る課題と水銀低減に向けた提案	姉崎正治, 三好恵真子	201505	日本生活学会 第42回大会
国際会議 (proc.あり)	A Study on the Association of Lifestyle and Eating Habit with Overweight by Pre-School Children in Provincial City, Vietnam	Yamazaki, Y., Son, T. H., Sumimura, Y., and Miyoshi, E.	201505	8th Asian Congress of Nutrition: A joint meeting with The 69th Annual Meeting of Japan Society of Nutrition and Food Sciences
国際会議 (proc.あり)	Identifying Characteristic Physiological Patterns of Mentally Disease Patients using Analysis of Plethysmograms, and its Applications: Possibility of the applied development as the correspondence method to the mental problem in China	Miyoshi, E., Yuyu Hu and Oyama-Higa, M.	201509	International Symposium on Rheology (ISR 2015)
国際会議 (proc.あり)	Nonlinear Analysis of EEG and Pulse Waves & the Changes of Two Signals with Music Stimulation	Yuyu Hu, Oyama-Higa, M. and Miyoshi, E.	201509	International Symposium on Rheology (ISR 2015)
国際会議 (proc.あり)	不可視のリスクに起因する不安のコミュニケーションをどう捉えるべきか—静かなる時限爆弾“アスベスト”に触まれた人々の叫び—	三好 恵真子	201511	研究セミナー「中国の食・健康・環境の現状から導く東アジアの未来」
専門著書	「個人の中での文理融合への挑戦, 実践的研究者育成への展望」『中国の食・健康・環境の現状から導く東アジアの未来—地域研究における文理融合モデルの探求』	三好恵真子(田中仁・思沁夫・豊田岐聡(編))	201603	O UFC Booklet Vol.8
専門著書	「討論 IV: 不可視のリスクに起因する不安のコミュニケーションをどう捉えるべきか」『中国の食・健康・環境の現状から導く東アジアの未来—地域研究における文理融合モデルの探求』	三好恵真子(田中仁・思沁夫・豊田岐聡(編))	201603	中国文化フォーラム

所属学系	グローバル人間学系	氏名	河森 正人
------	-----------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	24 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	1 件
			副査	5 件	9 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	2 名
	指導教員	1 名	2 名	留学生	0 名
	副指導教員	4 名	9 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	2 件	1 件	2 件	0 件	0 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	「東南アジアの福祉と国家についての一考察ータイの事例をつうじて」	河森 正人	201602	『海外社会保障研究』 193 号 p43-53
教科書	『共生学が創る世界』	河森正人, 栗本英世, 志水宏吉 共編	201603	大阪大学出版会
その他	『ケアのコミュニティをつくる』	河森正人	201510	ジールプラス

所属学系	グローバル人間学系	氏名	鈴木 広和
------	-----------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	20 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	0 件	2 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	1 名
	指導教員	1 名	0 名	留学生	0 名
	副指導教員	1 名	4 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	件	件	件	件	件	件	件
その他	事典項目						

所属学系	グローバル人間学系	氏名	大谷 順子
------	-----------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	12 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	1 件
			副査	0 件	1 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	1 名
	指導教員	1 名	8 名	留学生	14 名
	副指導教員	1 名	1 名	研究生	6 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	3 件	4 件	2 件	2 件	5 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	「新疆维吾尔族女性维汉双语使用情况调查」	希日娜依・買蘇提(シ ェリンアイ・マイス ティ), 大谷順子	201505	『21 世紀東アジア社会学』日中 社会学会 7 巻 p181-192
学術論文	Earthquake insurance and post-disaster housing in the case of Canterbury earthquakes in New Zealand	Otani, Junko	201603	Osaka Human Sciences 2 巻
学術論文	Earthquake insurance and post-disaster housing in the case of Canterbury earthquakes in New Zealand	Junko Otani	201603	Osaka Human Sciences 2 巻 p1-20
学術論文	Issues in reconstruction policy of Sichuan Earthquakes in P.R.China	Otani, Junko	201603	1 巻 p57-78
学術論文	新疆ウイグル自治区の漢語教育 に見る言語とアイデンティティ の関係	新井凜子・大谷順子	201603	『21 世紀東アジア社会学』日中 社会学会 8 巻
学術論文	中国四川省北川県におけるディ ザスターツーリズム開発に関す る研究—災害教育を中心に—	高欣・大谷順子	201603	『日中社会学研究』日中社会学会 24 巻
国際会議 (proc.あり)	The Dementia Knowledge Assessment Scale (DKAS): A universal measure to assess understanding about the biomedical and psychosocial aspects of an emerging global health challenge and its Japanese version	Otani, J & Annear, M	201602	The 34th Western Regional Conference of the Japan Association for International Health, Kurashiki, Japan

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
国際会議 (proc.あり)	Reconceptualising vulnerability, risk, and technology in an ageing society: Evidence-informed psychosocial interventions and participatory urban remediation support recovery.	Annear, M., Otani, J., & Keeling, S.	201603	The 12th APRU Multi-hazards Symposium, Kyoto University, Kyoto, Japan.
専門著書	「高等教育グローバル化に目覚めた中国—大学の国際化と海外拠点の活動を通して」(第7章:217-240頁) 石川真由美編『世界大学ランキングと知の序列化: 大学評価と国際競争を問う』	大谷順子	201603	京都大学学術出版会
教科書	「中国・中央アジアの健康格差と共生」(12章, 169-183頁) 河森正人・栗本英世・志水宏吉編著『共生学が創る世界』	大谷順子	201603	大阪大学出版会
専門著書	世界大学ランキングと知の序列化: 大学評価と国際競争を問う	石川真由美 編	201603	京都大学学術出版会

所属学系	グローバル人間学系	氏名	ズグスタ・リチャード
------	-----------	----	------------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	件	件
			副査	件	件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	名
	指導教員	名	名	留学生	名
	副指導教員	名	名	研究生	名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	1 件	件	件	件	件	件	件
	その他						

所属学系	グローバル人間学系	氏名	福岡 まどか
------	-----------	----	--------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	8 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	件	1 件
			副査	件	3 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	3 名
	指導教員	名	2 名	留学生	名
	副指導教員	1 名	3 名	研究生	名
				その他	学部 3 年生ゼミ生 4 名

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	2 件	4 件	1 件	3 件	件	件	件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	Reinterpretation of the Ramayana in Indonesia: A Consideration of the Comic Works of R.A. Kosasih	Madoka Fukuoka	201511	国立民族学博物館研究報告 40 巻 2 号 p349-367
学術論文	映画におけるジェンダー、セクシュアリティの表象を考える：インドネシアの 2000 年以降の作品を事例として	福岡まどか	201602	大阪大学大学院人間科学研究科紀要 42 巻 p19-42
学術論文	『黄金杖秘聞』に関する一考察 シラット、小説、コミックと映画との関連を中心に	福岡まどか	201603	たたかうヒロイン 混成アジア映画研究 2015 60 巻 p46-55
専門著書	ジャワの芸能ワヤン その物語世界	福岡まどか	201602	スタイルノート
教科書	インドネシア上演芸術の世界 伝統芸術からポピュラーカルチャーまで	福岡まどか	201603	大阪大学出版会

所属学系	グローバル人間学系	氏名	モハーチ・ゲルゲイ
------	-----------	----	-----------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	8 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	0 件	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	0 名
	指導教員	0 名	0 名	留学生	0 名
	副指導教員	0 名	0 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	0 件	3 件	2 件	3 件	3 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	Acting with Non-human Entities: Introduction to the Special Issue	モハーチ ゲルゲイ	201510	NatureCulture 3 巻 p1-6
学術論文	Traductions en Mouvement: Circulations conceptuelles entre pratiques anthropologiques et pratiques indigenes	モハーチ ゲルゲイ	201512	Revue d'Anthropologie des Connaissances 9 巻 4 号 p409-428
大学・研究所等の報告	共生と多文化主義の比較研究に向けて	モハーチ ゲルゲイ 今井貴代子	201603	未来共生学 3 巻 p11-32

## 5-7. 学系外

講座名等	教員氏名
附属比較行動実験施設	山田 一憲
国際交流室	安元 佐織
学生支援室	前馬 優策
評価資料室	樋口 麻里
学部英語コース 人間科学コース特任教員	Lam Laiming
学部英語コース 人間科学コース特任教員	Kim Viktoriya
学部英語コース 人間科学コース特任教員	Streich, Philip Alan
学部英語コース 人間科学コース特任教員	CAVALIERE Paola

所属学系	附属比較行動実験施設	氏名	山田 一憲
------	------------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	17 科目	②学位論文審査	博士	修士	
			主査	0 件	0 件
			副査	1 件	8 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	0 名
	指導教員	0 名	0 名	留学生	0 名
	副指導教員	1 名	10 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	0 件	2 件	2 件	17 件	1 件	1 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	Emotional states after grooming interactions in Japanese macaques ( <i>Macaca fuscata</i> )	M. UENO, K. YAMADA, & M. NAKAMICHI	201512	Journal of Comparative Psychology 129:394-401
学術論文	Function of grunts, girneys and coo calls of Japanese macaques ( <i>Macaca fuscata</i> ) in relation to call usage, age and dominance relationships	N. KATSU, K. YAMADA, & M. NAKAMICHI	201602	Behaviour 153: 125-142
会議報告 /口頭発表	オキシトシン受容体遺伝子の多型がニホンザルの社会性に与える影響	大西賢治・山田一憲・中道正之・井上英治・齋藤慈子・長谷川寿一・井上・村山美穂	201507	第 31 回日本霊長類学会大会
会議報告 /口頭発表	ニホンザルは毛づくろいの催促が失敗した時にどう行動するのか	上野将敬・山田一憲・中道正之	201507	第 31 回日本霊長類学会大会
会議報告 /口頭発表	勝山ニホンザル集団における協力行動	山田一憲・貝ヶ石優・上野将敬・中道正之	201507	第 31 回日本霊長類学会大会
会議報告 /口頭発表	淡路島ニホンザル集団における協力行動実験	貝ヶ石優・中道正之・山田一憲	201507	第 31 回日本霊長類学会大会
会議報告 /口頭発表	動物園のワオキツネザル集団における子の誕生が集団の社会構造に与える影響の検討	大井裕典・山田一憲・中道正之	201507	第 31 回日本霊長類学会大会
会議報告 /口頭発表	嵐山集団のニホンザルにおける敵対的交渉後の親和的交渉に伴う音声の機能	勝 野吏子・山田一憲・中道正之	201507	第 31 回日本霊長類学会大会

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
会議報告 /口頭発表	Cooperative problem solving by Japanese macaques in the Awajishima group	Y. KAIGAIHI, M. NAKAMICHI, & K. YAMADA	201509	The 75th Annual Meeting of the Japanese Society for Animal Psychology
会議報告 /口頭発表	Influence of uncertainty on vocal usage in post-conflict situations of Japanese macaques	N. KATSU, K. YAMADA, & M. NAKAMICHI	201509	The 75th Annual Meeting of the Japanese Society for Animal Psychology
会議報告 /口頭発表	Influences of genetic polymorphisms in oxytocin receptor gene (OXTR) on affiliative sociality of Japanese macaques (Macaca fuscata)	K. ONISHI, K. YAMADA, M. NAKAMICHI, E. INOUE, A. SAITO, T. HASEGAWA T, & M. INOUE-MURAYAMA	201509	The 75th Annual Meeting of the Japanese Society for Animal Psychology
会議報告 /口頭発表	Regional differences in tolerance and genetic polymorphisms of Japanese macaques (Macaca fuscata)	K. YAMADA & M. INOUE-MURAYAMA	201509	The 75th Annual Meeting of the Japanese Society for Animal Psychology
会議報告 /口頭発表	京都市動物園における生後2ヵ月間のキリンの授乳行動の発達変化	川北安奈・山田一憲・中道正之	201511	SAGA 18
会議報告 /口頭発表	野生ニホンザル集団における協力行動実験: 集団間の寛容性の違いが協力行動に及ぼす影響	貝ヶ石優・中道正之・山田一憲	201512	日本人間行動進化学会第8回大会
会議報告 /口頭発表	京都市動物園の幼獣オスキリンのフレーメンについて(A 9-month-old male calf giraffe at Kyoto City Zoo flehmened)	川北安奈・山田一憲・中道正之	201603	動物園大学 6 in 犬山 ず~だなも。
会議報告 /口頭発表	京都市動物園を訪れる来園者にとってのふれあいグラウンドの役割	土井穂波・山田一憲・田中正之・和田晴太郎・中道正之	201603	第22回ヒトと動物の関係学会学術大会
会議報告 /口頭発表	京都市動物園を訪れる来園者にとってふれあいグラウンドはどのような役割を果たしているのか	土井穂波・山田一憲・田中正之・和田晴太郎・中道正之	201603	動物園大学 6 in 犬山 ず~だなも。
国際会議 (proc.なし)	Factors affecting the use of the vocalizations in post-conflict affiliative interactions in Japanese macaques	N. KATSU, K. YAMADA, & M. NAKAMICHI	201504	Tokyo Lectures in Language Evolution
国際会議 (proc.なし)	Anxiety reduction by vocalization in post-conflict affiliative interactions in a free-ranging group of Japanese macaques	N. KATSU, K. YAMADA, & M. NAKAMICHI	201508	Behaviour 2015
解説・総説	霊長類のコンフリクトと共生	山田一憲	201603	共生学が創る世界

○受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
201509	Y. KAIGAIHI (連名として、M. NAKAMICHI, & K. YAMADA)	優秀発表奨励賞	日本動物心理学会
201512	貝ヶ石優 (連名として、中道正之・山田一憲)	若手奨励賞 (口頭発表)	日本人間行動進化学会

所属学系	国際交流室	氏名	安元 佐織
------	-------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	3 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	0 件	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	0 名
	指導教員	0 名	0 名	留学生	4 名
	副指導教員	0 名	0 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	0 件	0 件	3 件	0 件	0 件	0 件	0 件
	その他	翻訳 1 件					

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
翻訳作品	犯罪被害を受けた子どものための支援ガイドー子どもと関わるすべての大人のために	野坂祐子,大岡由佳	201602	金剛出版

所属学系	学生支援室	氏名	前馬 優策
------	-------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	5 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	0 件	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	0 名
	指導教員	0 名	0 名	留学生	0 名
	副指導教員	0 名	0 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	0 件	1 件	0 件	3 件	0 件	0 件	0 件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	A Practical Study on Bernstein's Socio-Linguistic Code Theory in Japan: Differences in Linguistic Code in Children in the 1st Year	Yusaku MAEBA	201603	OSAKA HUMAN SCIENCES 2 巻 p119-136

所属学系	評価資料室	氏名	樋口 麻里
------	-------	----	-------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	0 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	0 件	0 件
			副査	0 件	0 件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	0 名
	指導教員	0 名	0 名	留学生	0 名
	副指導教員	0 名	0 名	研究生	0 名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	件	3 件	1 件	2 件	件	件	件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
学術論文	Dependence on Cultural Contexts of the Factors Influencing Social Acceptance toward Schizophrenia: Evidence from comparative study between Japan and Vietnam	Mari HIGUCHI	201508	Asian Social Science 11 巻 22 号 p187-202
学術論文	『社会的包摂』概念の理論的境界—精神障がい者の社会的排除問題からの再帰的検討	樋口麻里	201602	大阪大学大学院人間科学研究科紀要 42 巻 p163-187
学術論文	Discovery of Place to Belong in Recovery Process of Persons with Schizophrenia: Combination of Grounded Theory Approach and QDA Software Atlas.ti	Mari HIGUCHI	201603	Osaka Human Sciences 2 巻 p1-22
会議報告 /口頭発表	希少疾患と社会的困難—当事者への聞き取り調査から	樋口麻里	201505	第 41 回日本保健医療社会学会大会
会議報告 /口頭発表	なぜ精神障がいをもつ子へのケアを引き受けるのか—親のケア行為とその動機の日仏比較	樋口麻里	201509	第 25 回日本家族社会学会大会
会議報告 /口頭発表	Interaction Effect of Social Values and Genetic Causal Aspect of the Mental Disorder on Family's Care-giving Motivation in Japan and France	Mari HIGUCHI	201512	Rencontres Internationales. Partager la science, partager les valeurs le challenge de la diversité / International meeting. Sharing science, sharing values the challenge of diversity

所属学系	G30 英語コース	氏名	LAM Lai Ming
------	-----------	----	--------------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	9 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	件	件
			副査	件	件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	名
	指導教員	名	名	留学生	名
	副指導教員	名	名	研究生	名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	2 件	2 件	4 件	件	件	件	件
	その他						

○著書・論文

- Lam, L. M (2015) Conservation-led Displacement, Poverty and Cultural Survival: the Experiences of the indigenous Rana Tharus Community in Far-western Nepal. In *Global Implications of Development, Disasters and Climate Change: Responses to Displacement from Asia Pacific* (eds), S. Price and Singer, J. Routledge. Pp.205-221
- Lam, L. M (2015) Management Issues in Multicultural Classrooms. In *A Handbook for Enhancing English-Medium Program Quality and Practice Teaching Quality Handbook: Towards Effective Teaching, Learning and Assessment* (Authored and eds) B. Yamamoto and D. Bysouth. Osaka University Press.Pp. 145-152.
- Lam, L. M. (2015) 'Environment, Livelihood and Household: The Ethno-History of Rana Tharus Badaghar Households', *The Australian Journal of Anthropology* 26 (1) :293-312
- Lam L.M, S. Paul, S. & V. Sarma (2016). Reversal of Fortune? The Long-term Effect of Conservation-led Displacement in Nepal, *Oxford Development Studies*. DOI: 10.1080/13600818.2016.1149158.

所属学系	G30 英語コース	氏名	Kim Viktoriya
------	-----------	----	---------------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	8 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	件	件
			副査	件	件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	1 名
	指導教員	名	名	留学生	1 名
	副指導教員	名	名	研究生	名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	件	件	1 件	件	1 件	件	件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
会議報告 /口頭発表	日本における国際離婚—旧ソ連出身女性と日本人男性の事例から	キム・ヴィクトリヤ	201603	

○受賞・特許・作品、他

受賞年月	受賞者名	賞名	主催団体名
201507	キム・ヴィクトリヤ	大阪大学総長奨励賞	大阪大学

所属学系	G30 英語コース	氏名	Streich, Philip Alan
------	-----------	----	----------------------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	7.5 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	件	件
			副査	件	件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	名
	指導教員	名	名	留学生	1 名
	副指導教員	名	名	研究生	名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	件	件	1 件	件	件	件	件
	その他						

所属学系	G30 英語コース	氏名	CAVALIERE Paola
------	-----------	----	-----------------

(1) 平成 27 年度の教育活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①担当授業科目数	3 科目	②学位論文審査		博士	修士
			主査	件	件
			副査	件	件

③指導学生数	<大学院>	後期課程	前期課程	卒業研究指導学生	1 名
	指導教員	名	名	留学生	名
	副指導教員	名	名	研究生	名
				その他	

(2) 平成 27 年度の研究活動に関する以下の項目について記述して下さい。

①研究業績の公表	著書	学術論文	国際会議	会議報告	大学等の報告	解説・総説	書評
	件	件	1 件	件	件	2 件	件
	その他						

○著書・論文

分類 (著書/論文等)	書名/論文タイトル	著者名	発行年月	掲載誌巻号頁/発行元
翻訳作品	Acque torbide [にごりえ (1895)]	樋口一葉 (著) CAVALIERE PAOLA, 東暑子(翻 訳)	201506	Editoriale Jouvence (Milano), Italy 担当頁: <a href="http://www.jouvence.it/component/virtuemart/fuori-collana/acque-torbide.html?Itemid=0">http://www.jouvence.it /component/virtuemart /fuori-collana /acque-torbide.html?Itemid=0</a>
翻訳作品	Come Se [かのように (1911)]	森鷗外 (原著) CAVALIERE PAOLA, 東暑子 (翻 訳)	201506	Editoriale Jouvence (Milano), Italy 担当頁: <a href="http://www.jouvence.it/component/virtuemart/fuori-collana/come-se.html?Itemid=0">http://www.jouvence.it /component/virtuemart /fuori-collana /come-se.html?Itemid=0</a>